



開倫塾ニュース 3月号送付の御案内

## 学力を確実に身につけるために

- 一度「理解」した教科書、テキスト、テスト、過去問を6回以上やり直すこと -

開倫塾

塾長 林 明夫

練習は不可能を可能にする

1. 入学試験まっただ中の今、受験生がすべきことは何か。学校や開倫塾の授業で一度「うん、なるほど」と「理解」した「教科書」「参考書」「テキスト」「問題集」「過去問」「ノート」などを、スミからスミまで6回以上確実にやり直すことが大切です。
2. 練習は不可能を可能にします。
3. この塾長通信では、入学試験合格に直結する学力の上げ方について私が執筆した文章をまとめてみました。
4. 20年近く前のものもありますが、考えは全く変わっていません。どうかじっくりお読みいただき、皆様の合格にお役立て下さい。
5. 非受験学年の皆様は、1年後、2年後、3年後に受験生になったときにどうすればよいのかを、私の文章を参考にして、今から十分考えておくことをお勧めします。  
「受験生としての自覚」さえあれば、どのような難関校の合格も可能ですが、「受験生としての自覚」が不足すれば、どんな易しい学校にも入学できません。
6. 開倫塾では、学力の前提となる「学び方を学ぶ能力を身につけること」「読書による思慮深さを身につけること」「新聞を読んで自ら考える力、つまり批判的思考能力を身につけること」を奨励しています。これに関連する文章も入っていますので、ぜひ熱心にお読みいただきたくお願い申し上げます。

ご健闘をお祈り申し上げます。

以上

## 何のために勉強をするのか、進学をするのかを考えよう

自覚を持って勉強するために

開倫塾

林 明夫

Q 勉強がよくできる、つまり成績を上げる、希望校に合格するための秘訣は何ですか。

A (林明夫。以下省略)よい質問ですね。どうしたら勉強ができるようになるのか、どうしたら学校の成績を上げることができるのか、どうしたら希望する学校に合格することができるのかと、自分の力で考えることは素晴らしいことです。

また、いろいろな人から意見を聞いた上で、自分なりの考えを持つことは立派なことです。

これから私の考えをお伝えしますので、いろいろな考えの一つとして参考にして下さいね。

私の答えは、何のために勉強をするのか、何のために進学をするのかを自分の力で考え、確固たる信念、つまり自覚を持って学校の勉強をし、また、受験勉強をすることが成功の秘訣というものです。わかりましたか。

Q 自覚がないとどうなるのですか。

A 何のために学校で勉強をしているのか、何のために受験勉強をしているのかがはっきりしませんから、よい結果を出すことは困難、難しいといえます。

自分は今どこにいて、何をやっているのだろう。一体ここはどこで、自分は何なのか。時々はこのようなことを突き詰めて考えるのも人生のよい勉強ですから、ぜひやってみて下さいね。

自分というものを見つめて、自分の歩む道を自分で探し求め、一定のものが見えてきたら行ったり来たり試行錯誤(しこうさくご)を繰り返しながら、少しずつでも理想や夢に向かって前に進む。これが、人間の一生かもしれません。

Q えー。随分難しそうですね。どうしたらよいのですか。

A 人の一生にはいろいろなものがあるということを知ることが大事です。家族や親せき、近所や学校で出会う人々の生き方をよく見ることもよい勉強になります。

私がお勧めしたいのは、学校や市や町の図書館に行き伝記を読むことです。日本や世界の発展のために活躍した人たちの伝記を、ゆっくりと5～6回読むことをお勧めします。こんな生き方をした人も日本や世界にはいたのかと、とても参考になりますよ。

伝記を読んだほうがよいのは、小学生や中学生だけではなくありません。高校生、大学生、大学院生になっても、また、社会で活躍するようになってからも伝記はとても参考になります。80歳、90歳を超えてからも伝記をじっくり読んで、人生を充実させておられる方はたくさんいらっしゃいます。

伝記を読むと、どんな困難も克服するエネルギーが湧いてきます。信念を持った生き方の大切さがわかります。使命感や自覚を持ってものごとにあたることの大切さがわかりますよ。

Q 伝記を読む他に、自覚を持つ方法がありますか。

A 新聞を毎日じっくりと読むことです。世界や日本、今住んでいる地域で何が発生しているのかを新聞社の目で伝えてくれるのが新聞です。

新聞には、楽しいことばかりでなく、社会の問題点を非常に厳しい目で指摘した記事がたくさん出ています。

社会の解決しなければならない問題を新聞で知ることができますので、興味や関心のある事柄についてどうなっているのかを知ることができます。

例えば、私は、中学生の頃に新聞で教育や外国の記事を読み、教えることへの興味を持ち、また、外交にも関心を持ちました。新聞記事で刑事事件の記事を読み、また、何人かの裁判官や弁護士の伝記を読み、法律家というものに興味を持った記憶があります。

勉強をして学校の先生や外交官、弁護士になりたいなと中学校の1～2年生の時に思ったのは、新聞や伝記のためでした。そのお陰で、勉強は随分はかどったようです。

Q 受験まではもうわずかです。受験生に一言お願いします。

A 「受験生としての自覚」を最後まで持って机に向かうことに尽きます。

何のために生きるのか、何のために勉強をするのか、進学をして何を学ぶのかをいつもいつも考えながら、受験勉強をして下さい。どのような小さなことでも自分なりの答えが見つかったら、それを大切に、大切に心に秘めて受験勉強をして下さい。どんな小さな夢でも持たない限り実現しません。

If you can dream, you can do it !

このことばを心の中で叫び続けながら勉強をして下さい。

夢は必ずかかないます。

頑張ってくださいね。

- 2010年1月22日記 -

## 入試直前の心構え

- ラストスパートをするにあたって心得ておくべきこと -

開倫塾

林 明夫

### 1. はじめに

入学試験まで1か月余りとなりました。そこで今回は、入試を1か月後に控えた受験生の勉強方法・心構えをいっしょに考えてみましょう。

### 2. 日常の心構え

(1) 「合格する！合格する！」と自分自身に繰り返して言う時に、すでに希望校に合格することを半ば以上自分のものにしたのと同様である。

「悲しいこと」「腹の立つこと」「気がかりなこと」など消極的なことは寝床の中に一切持ち込まない。明るく朗（ほが）らかに、生き生きとして勇ましい積極的なことを連想する。

(2) 鏡に映る自分の顔に、自分のなりたい状態を命令的な言葉で、例えば「お前は合格する！」「お前はもっと成績がよくなる！」と発声する。「つぶやき」くらいの声でよいから真剣に。1回一事項で(2回も3回も繰り返さない)。命令したことが現実化するまで、同一命令を続行すること(途中で他のものに変更しない)。一日中、折あるごとにやってもよいが、寝ざわにやるのが効果的。

(3) 翌朝目ざめ直後の心掛け 前夜命令したことを、すでに具体化された状況で、断定した言葉で表現する。例えば、前夜「お前は合格ができるようになる」と命令したら、それを「私は、きょうは合格ができるまでに学力が身についた」と自分の耳に聞こえるように言う。

これは、鏡を用いなくてもよいから、目ざめた直後に行うこと。一日中、回数多くやる方がより効果的。

(4) 『困った』『弱った』『情けない』『悲しい』『腹が立つ』『助けてくれ』等、消極的な言葉は絶対に口にしない。

不平不満を言わず、『正直・親切・愉快』を生活のモットーとする。

『今日一日、怒らず、怖れず、悲しまず』の実行。

心が積極的か、消極的か、常に客観的に検討し、少しでも消極的なものは追い出す。

他からの暗示事項を常に分析し、積極的なものは取り入れ、消極的なものは拒否する。

明るく朗らかに、生き生きとして勇ましい態度で何人にも接する。特に不健康・悲運の人に対しては、鼓舞・奨励以外の言葉は口にしない。

『さしあたる、その事のみをただ思え、過去は及ばず、未来知られず』取越苦労は厳禁です。

本心良心にもとった言動は絶対しない。

「今日一日

怒らず 怖れず 悲しまず

正直 親切 愉快地

力と 勇気と 信念とをもって

自己の人生に対する責務を果たし

恒（つね）に平和と愛とを失なわざる

立派な人間として生きることを

厳かに誓います」

中 村 天 風

\* 「中村天風・成功手帳 1994 年版・日本経営出版局」より引用。

以上長い引用になりましたが、中村天風氏のことばに受験を重ね合わせたものを書いてみました。ものごとの大半は心構えで決まってしまうと思いますので、どうか、二度、三度と読み直して下さい。受験を通して積極的な生き方を身につけて下さい。

### 3. 一日中勉強・受験前日まで朝起きてから寝るまで勉強

(1) 受験生なのに、あれもしたいこれもしたいというのは、手が一本しか入らない取り口のあめ玉の容器に手を突っ込んで手にいっぱいあめ玉を取り、取り口のところで手をつかえさせて手が出ないように泣いている幼児と同じで、欲が深すぎます。いろいろやりたいこともあるでしょうが、この際受験一本に絞り込んでものごとに向かうべきです。

(2) ただ、そうは言っても、学校に行き授業中に「内職」をするようでは困ります。最後まで授業はキッチリ受け、わからないところは積極的に質問し、頭の中を整理することも必要です。体育や音楽、技術家庭、美術等の時間には、これまた積極的に身体を動かしたり、歌を歌ったり、作業をしたり、芸術に親んだりすることも「教養」を高め、心を洗うことになりますので、ぜひ積極的に取り組んで下さい。休み時間に友だちや先生と語らうことと同様に、受験勉強のよいリフレッシュになります。

(3) また、家でしなければならぬ手伝いも、同じ家庭に生活する者としての責任を果たす意味からも、受験生だからといってしなくてよいことにはなりません。進んでどんどん行うべきであります。

(4) 食事や風呂・身づくり、睡眠も人間としての生存を維持し、社会生活をする上で不可欠ですので、ある程度時間をとり行うべきであります。

(5) 要するに、人間として生活するのに欠いてはいけないことには、それ相応の時間を費すべきだと考えます。

(6) 私がここで言いたいのは、「それ以外の時間は、すべて受験勉強に使うべきだ」ということです。

(7)卒業間際になると、学校での授業が変則的になり、自習時間が増えたり、早く帰宅できる日が増えたりします。そのようなときこそがチャンスです。わき目もふらず勉強することにすべてを使うべきです。この時期になり、TV・ファミコン・長風呂・長電話・マンガ・ロゲンカ・悩むことに時間を使ってはあまりにももったいない。固い決意のもと、必要なこと以外には大事な時間を使わないことをくれぐれも心掛けて下さい。

(8)必要なら睡眠時間も削ることです。7時間以上眠らなくては頭が変になる人は例外として、受験生であるなら7時間以上は眠らないことです。夕方眠り夜中に机に向かう人もいますが、まるっきりやらないよりはマシですが、夕方眠りすぎると一日中頭がボーとしますのであまりすすめられません。夕方は20～30分の昼寝にとどめるべきです。

#### 4. 一点突破全面展開をはかること

(1)各科目ごとに、これから入試までに自分なりにしなければならぬ作業を明確にして、そのみ集中的に行うべきです。

(2)例えば、社会の勉強をするについて、世界の歴史に全く手がついていなければ、世界の歴史のみ集中的にやればよいことは当然です。

(3)英単語が書けないために英語の得点が取れない人は、中学1年生の教科書を取り出して、まず第一課から書けなそうな単語を書けるまでにする練習をすべきことこれまた当然です。

(4)国語で古文がまるっきりわからなければ、教科書や参考書の古文を一から勉強し直せばよいのです。

(5)今までまるっきり遊び通した人はいない。ある程度みんな一通りは勉強し終えたのだけれども、最後のツメが終っていないだけなのです。まるっきり終っていないと本人は思っている、1年生のように全く知識がゼロの状態ではないのです。3年生なら、1年生や2年生の勉強は2～3日でいくらでも終わらせることができます。

(6)要するに、その分野は不得意であると自分であきらめているだけのことが多い。ほぼ9割以上勉強し終えていて、その分野だけ残っているだけなのです。そうだとすれば、あとは時間を集中して教材を決めてその分野を集中的にやるだけです。

(7)ある程度できる分野は、過去の問題を短いスピードで解き、間違えたところを解き方と共に覚えるだけです。

(8)「ラストスパート」、がんばって下さい。

(9)入試に必要なのは「やる気」と「体力」だけなので、やった方が勝ちです。

## 人生逃げ場なし

- 素直な心になる修行も始めよう -

開倫塾

林 明夫

### 1. 人生逃げ場なし

『自分が逃げられないということは、自分と同時に人をも生かすことになる。逃げられないからこそ、いたらない中で本当の出会いがあり、人をもおのれをも生かす絆（きずな）が生まれてくる。どん底で逃げようとすればするほど、苦しみが追いかけてくる。苦しみの正体は、そういうものだと思う。

逃げないで、そこに我が身を投げ打てば、苦しみがあたたかく抱いてくれる。それさえわかれば逃げる必要はない。逃げる方が危険で、逃げない方がむしろ安全なのだ。逃げたら救われると思っても、結局いつも追われる身になる。逃げずに、そこで耐えることを体験することが大切なのだ。

ある方が、「実は私も逃げないということで身につまされた経験があります」と、涙ながらに話されたことがある。その方は、何年か前に、自分の店を自分のところの失火で全焼した。それだけならまだしも、となりの店まで類焼させ、そこで留守番をしていたおばあさんが焼死した。

いろいろないきさつはあったが、いずれにしても商売を始めなければ生活のメドが立たない。気持ちの上では、どうしてもとなりのおばあさんを亡くした場所では店を出せない。どこか手頃なところはないかと思って、人にも頼んでいる物色したけれども、その場所についているつながり、信用にまさるものはない。

そのうちに、となりのおばあさんを亡くしておいて、自分だけその場所から逃げ出すのは、いかにも卑怯ではないかと気がついた。そこで心を入れかえ、自分の店のことはさておき、となりの店の再建のためにお金も出し、できるだけの手伝いをした。となりの人は恨みも忘れて、「本当にこんなことまでしていただいて、亡くなった年寄りの供養になります」と、心から喜んで、りっぱに店を再建された。

それを見届けてから、さて自分の店の再建をと思ったが、もう資金も底をつき、途方に暮れていると、昔の友だちがたくさん駆けつけて、「あなたの店の事情はよくわかっている。となりの店のためにすばらしいことをしてくれた。でも、本当は困っているんだろう。今度はオレたちがキミの力になるよ」といって、何人もの友だちが出資をしてくれた。「今の私の店は、こういう友だちのおかげでできたのです。あのとき本当にここから逃げ出さなくてよかったと思っています。」といって、涙をこぼして感謝をされていた。

この方のように、長い人生の間には、思いがけない災難に遭うことは多い。そのとき人から守られ、人から生かされる。そして、人をも生かす生き方ができなければならない。そういう生きざまが、一人一人の生き方、毎日の経営の根底にあれば、どんな苦しみにも耐えられるのではないだろうか。

人間の一生にはいいこともあるし、悪いこともある。喜びや悲しみをまぜた中でさまざまな経験を重ねていく、そういうなかで、損だとわかっていることにも誠実に対処していくということは、いわ

ゆるあとしまつがきちんとできるということだ。

あとしまつせず次のことを考えてもだれも信用してくれない。大切なのは、あとしまつをすることだ。そういう自分を投げ出した仕事を、周りの人はじっと見ている。そのとき生まれた信用は絶対になくなる。困っているときにこそ誠実な生きざまが必要となる。

長い不況で、ずいぶん苦勞されている方が多いと思う。けれども不景気だからといって、うろたえたり騒いだりする必要はない。しっかりと足もとを見つめて、損をしたらその損にできるだけ誠実に尽くしてみることが、「人生逃げ場なし」ということに対する一つのあり方ではないだろうか。

わたしの師匠がよく「進むにも、退くにも道がある」といわれた。進む道はだれでもよく知っている。けれども、退く道もあることは、あまり知らない。しかし、進むのも退くのも、いつも真心を尽くすという一本ずっと通った道しかない。失敗したとき、損をしたときに誠実を尽くせば、自分が進もうとしなくても、必ず進むべき道が準備される。

不景気のときには、景気のよいときには学べない教えがある。そういうものを落ち着いて学んでみる姿勢が大切だ。いつも逃げ腰の人も、逃げられないことを覚悟すると、大盤石（ばんじゃく）になる。逃げないで仕事の教えてくれるものを謙虚（けんきょ）に学んでいくことが、不景気を克服する最良の生き方だと思う。』

\*以上、「ベスト・ライフ」石川洋著、実業の日本社 昭和 58 年 10 月刊 54 ~ 58 ページより引用

## 2. 素直な心

長い引用となりましたが、この文は、私が尊敬してやまない京都・山科（やましな）にある一燈園（いっとうえん）の石川洋（よう）先生の御著書からのものです。「素直な心は、人を強く正しく聡明にすると私は考えています。そのために、常々から素直な心になる修行というものが必要だと思うのです。そのような意味で本書からは実に多くの修行の糧が得られると思います」と、松下電気の創業者故松下幸之助さんも石川洋先生のこの本をすすめています。開倫塾の塾生の皆様も、ふだんの教科の勉強の他に、心の勉強・精神の修行もこれから意識的に行ってほしいと希望します。そのためにどのようにしたらよいか、今回は考えましょう。

## 3. 教科の勉強の他に学ぶべきこと

- (1) 人の話を最後まで静かに聴く訓練をする。立派な人物とみんなから言われている人の話は、積極的に聴きに行く。TV やラジオの番組欄も注目し、好きな人の話をできるだけ聴くようにする。話はメモを取りながら聴くとよい。
- (2) 幅広い読書をする。古くから読みつがれている本はとりわけ注目し、どんどん読み進める。感銘を受けた文章は、ノートに書き写しておく。気に入った本は何回も読むクセをつける。
- (3) 家の手伝い、学校での作業、地域での奉仕活動は自然な形でどんどん行う。
- (4) 「よいことをして忘れる」「他人の悪口は言わない」「グチは口にしない」訓練をする。
- (5) 身体を鍛える。強い身体をつくる。自分一人でする身体の鍛錬方法を早く身につけ、毎日決まった時間に行う。

#### 4. おわりに

21世紀は、本格的な「心」「精神」の時代に入ります。衣食足りて礼節の時代となります。「精神と自然」が人類史上最も大事にされる時代に入るかもしれません。どのようなことがあっても目の前の現実から逃げることなく、人間として生き抜いてほしい。そのために今から精神の勉強も怠らないでほしいと希望します。

開倫塾ニュース1991.1月号巻頭言です。御参考まで

### 新年を迎えて

- 京都・一灯園、石川洋先生から学ぶ -

開倫塾

林 明夫

#### 1. 新年を迎えて

(1)新しい年になりましておめでとうございます。時代もいろいろ変貌しておりますが、大事なことはやはり、一人ひとりの人間がいかに生きがいをもって生きるか、その基本を育てていくということだと思います。

特に、学生さんにとっては、自分の能力をいかに開発していくかという努力と、それを考える人生の基盤というようなものが大事なことでないかと思うのであります。

(2)少し年をとりますと昔のことを思い出すのですが、私は栃木県生まれでありまして、小学校1年から4年の2学期ぐらいまではいなかで育ちました。学校から帰ると、おじいさんやおばあさんに「手伝いをせい」と言われ、押切りという道具で藁を切って馬のエサをつくる仕事の手伝いをさせられたことを覚えています。小さい子には、押切りで切るのは少々危険でもあり、また力の要る仕事でもありましたが、今はとてもなつかしい思いをしています。また、時々おばあさんに言われて、そば踏みさせられたことも覚えています。昔は、いなかではそばを買うなどということはしませんでしたし、味噌も醤油も自分のところでつくりました。こねたそばはゴザにくるんで、小さい子が上から踏みました。20分ぐらい踏まされたでしょうか、いやで途中で逃げたくなったこともありましたが、今、そのことがとっても大事なことのような気がするんですね。

今のことばで言えばお手伝いということになるのですが、お手伝いというよりは、何かもっと違った意味で生きていた世界であったような気がするのです。

(3)小さな手と小さな足で何ができているのか、あるいは小さな手と小さな足で今何をしているのかということが、能力を開発する基本だと思います。何ができるのかという可能性の追求よりも、今何をしているのかという体験を基盤とすることが大切ではないかという感じがしてならないのです。

戦後の教育は、潜在意識、あるいは潜在能力を育てるという一つの流れがございます。それも、非常に大切な個性教育ということにあてはまることだと思いますが、何かそれよりももっと大切なことがあり、体験の意識を育てる、あるいは体験を基盤にして人間を育成することの方が、長い人類の歴史から見れば大事な人間育成の基盤ではないかなという気がしてならないのです。

(4) カウンセラーの先生方が、一つの問題を御親切に検討して、「一つの小さなできごとではあるけれども、こんなところがこの子の性格をゆがめているのではないか」、あるいは「こんなことがこの子を伸ばし切れない心のかげりになっているのではないか」とおっしゃることがあります。その子の家庭環境、あるいは人生経験を考えることも大切なことですが、実際から言いますと、どれが本当の原因かということは、本人もわかっておりませんし、それをお調べ下さる先生もわからないと思うのです。ですから、そのときに問題になったことだけを誇大視して、つまり針小棒大して解決しようとしていくのは、その人間の問題としてではなくて、むしろそのカウンセラーの学問の対象としての人間の問題として考えているのではないか、その辺に一つの限界があるような気がするのです。

(5) もっと大事なことは、基本からやり直すということです。小さな手と小さな足で今何ができているのか。社会人として、家庭人として、あるいは一人の人間として確実に生きているその体験から何を学んでいるのか。小さいときにはわからないだろうけれども、実はそれが長い人生を支える一番大事な基盤づくりではないかなという感じがするのです。

(6) 時々、いろいろな問題をもって御相談に来られるお子さん連れのお母さんもいますが、私はそういうときに、原因は聞かないことにしています。朝何時に起きていますかと聞くと、学校に行かない子が8時ということがあります。学校に行けなくなったことは、子どもとしては一つの大きな問題でしょう。しかし、人間としてどこからやり直すのかということが大切だと思うのです。7時に起きて学校に行っていたのなら、6時半に起きてお手伝いをし学校に行かない期間だって立派に人間として生きる基盤をつくっていけば、おのずからいろいろな問題を乗り越えて仲間と明るく学生生活あるいは青春というものをつくり、人生を生きがいのある、確信のある生き方につくり変えていくことができるのではないかと思うのです。

(7) そういう意味で、「何をするか」ではなくて、いつでも「今何ができているのか」あるいは「今何をしているのか」という体験の上に立って学んでいくことが、人間教育として一番大事な基礎づくりではないかと思えます。

(8) 栃木県の皆さん、私もいなかで育ちまして押切りを使って馬のエサをつくったり、そばを踏んだりしたことが一番大事な自分の基礎になっているような気がいたします。足もとをしっかりと一年のはじまりでありたいと思います。

\* ラジオ栃木放送 1月19日(土)午後3時30分すぎから放送予定の「開倫塾の時間」での京都・山科・一燈園、石川洋先生のお話の速記録。(文責・林明夫)

## 2. 今何ができているか、今何をしているのか

「今何ができているか」あるいは「今何をしているのか」が最も大切であるという石川洋先生のお話には感銘深いものがありました。原因を探り反省はせねばなりません、今までのことはあまり言っても仕方のないことです。新年ですので、今年からどうしよう、今からどうしようものごとを新たに考え直し、今までの自分にとらわれない生き方、自分の理想とする生き方により近い生き方をしていただきたいと思います。

## 3. おわりに

(1)ただ、学生としての生き方にはおのずから制約があります。「勉強をすること」「身体を鍛えること」「心をよりよくすること」は必ず行って下さい。受験生であるからには、一定レベル以上の基礎知識を身につけて希望校に進学することは当たり前のことです。そのためには、今まで教わってきたことを完全に理解し尽くした上で、それを答案の上に制限時間以内に表現し尽くさねばなりません。

(2)大学入試や高校入試を受けるだけの学力を身につけることは、受験生のこれからの人生に多大な貢献をします。何しろ、読み書きができ、計算ができ、英語がわかり、自然科学・社会科学の基礎的な素養があることを意味するのですから、職業選択の幅が大きく広がるばかりでなく、様々な活動が自らの責任で自由にできる基礎が提供されるからです。どうか受験勉強を「被害者意識」で行うのではなく、今まで勉強してきたもののうち不確かであったものを確実にし、完全に理解してから上級の学校に進み、更に勉強を深めるものと積極的にとらえて下さい。この勉強を契機に、自分なりの勉強の仕方(スタディ・スタイル)も少しずつつくって下さい。「素直な心」と「長時間勉強をしても大丈夫なだけの体力」と「明確な目的意識」さえあれば、必ず道は開けます。

開倫塾の先生方は皆さんが勉強の上で成果が上がるよう全力をあげて応援いたしますので、最後までがんばってついてきて下さい。

(3)何十年かたって、高校や大学入試のときにはよく勉強したな、あの勉強が自分の基礎をつくったと振り返られるくらい、ぜひがんばっていただきたく思います。

## 受験生は最後の追い込みを

開倫塾

林 明夫

2 学期の期末試験が終了したと同時に、大部分の受験生は希望校合格に向けての最後の追い込みに例年入ります。そこで今回は、最後の追い込み勉強のコツをお伝えいたします。

### 1. 悩む時間をできるだけ短くすること

- (1)「どこの学校を本命で受験しようか」からはじまって、「この学校は今の成績で合格するのか」、「他にどこを受けておこうか」、「成績がなかなか思うように伸びない。どうしたらよいか」、「  
という科目の      という分野がよくわからない」、「何から手をつけていいかわからない」、「最近友だちの      さんとの仲がうまくいかない。どうしたらよいか」等々、受験生の悩みはつきま  
せん。いくらでも悩みの種はあります。学校で成績が一番の子ですら、二番になるのではと悩ん  
でいることもあります。
- (2)ある程度悩むことは仕方のないことといえますが、悩む時間は勉強をしない時間を意味します  
から、長く悩むことは長く勉強をしないことを意味します。悩む時間が長ければ長いほど、勉強  
する時間が短くなり、勉強に集中している他の人にどんどん追いつかれ追い抜かれることを意味  
します。
- (3)受験生にとって悩む時間が長いことは成績を下げることを意味しますから、できるだけ悩む時  
間をとらないように努力する必要があります。「悩む時間は 30 分までにすること。いくら悩んで  
も成績は上がらない。悩むヒマがあったら机に向かうこと。」をおすすめします。
- (4)友だちで悩みごとばかり言う人にも、このことを教えてあげてください。きっと喜ばれます。
- (5)もし本当に解決できない悩みがあったら、学校や塾の先生、カウンセラーの先生、精神科のお  
医者さんを気軽に訪ねてください。ベテランの先生ならきっと相談に乗って下さいます。
- (6)ただ、くれぐれも言っておきますが、受験生の悩みの大半は成績を上げることで解決します。  
そのためには、何が何でも合格してやろうという気構えのもと、悩んでいる時間など 1 秒でも少  
なくして、長時間勉強する以外にありません。やるしかないのです。

## 2. 気力を充実させ長時間勉強すること

- (1) 受験勉強に最も必要なことは、長時間、つまりできるだけ長く気力と体力の続く限り勉強をするということです。勉強時間は長ければ長いほどよいことは当たり前です。
- (2) 同じくらいの成績の人が、みんなほぼ同じ学校を目指しているのですから、本当の意味での競争となります。絶対合格してやるんだと気力を充実させ、朝起きてから夜寝るまで必死に勉強してはじめて受験生です。気力がゆるみ怠けて勉強しない人は合格できないことも常識です。勉強しなければならぬときに、気がゆるみカゼをひき熱を出すのは、「健康管理ができない」のですから実力不足です。カゼをひかないように気をつけるのも「実力」のうちです。
- (3) 受験勉強に頭の上よし悪しは関係ありません。「私は頭がよくないからダメだ」と思った瞬間に合格は他の人のところに行ってしまう。受験勉強に必要なのは、「絶対に合格してやる」という「気力」と「長時間勉強できる」だけの「体力」だけです。「体力」などなくても、「気力」だけで勉強はできるとも言えます。「気力」は、「執念」とも言い換えられます。何が何でも合格してやるのだという強い「執念」をもち、「気力」を充実させることこそが合格に値する「長時間の勉強」を可能にします。
- (4) 土曜日、日曜日、学校が早く終わる日、つまり学校に行っている間を除くすべての時間は受験勉強にあてることです。眠る時間を 1、2 時間短くしてでも長い時間勉強することです。
- (5) TV を見、パソコンや長電話、マンガにうつつを抜かしているようでは長い勉強時間は確保できません。悩んでいるヒマなど一切ないのが受験生です。

## 3. 12月からは入試問題を毎日大量に解き入試問題に慣れること

- (1) この時期になって参考書を 1 ページから勉強しているようでは、いつまでたっても入試での得点力はつきません。教科書や参考書、やさしい項目別問題集は、よほどできの悪い不得意分野に限るべきです。
- (2) 12 月の期末試験明けから入試直前までやるべきことは、全国の昨年度、一昨年度の入試問題集を毎日大量に時間を区切って解くことだけです。書店に行けば並べきれないほどこの種の問題集は売られていますので、お金を惜しまず各科とも毎週 1 冊ぐらい買い求め、どんどん終わらせていくことが大切です。
- (3) 高校入試の受験生なら、各科ごとに北海道から沖縄までの昨年度の県立高校入試の問題を 12 月中に終わらせることが、得点力をつける最も手っ取り早い方法です。
- (4) 間違えた問題には問題番号の上に赤で印をつけておき、1 月に入ったら赤印のついた問題のみやってみることをおすすめします。これだけで偏差値が 5 ~ 10 上がる受験生が毎年何十名も出ます。

(5) 県立高校の問題が解き終わったら、私立高校の問題集に1月いっぱい立ち向かって下さい。難問が多いので、参考書や辞書を総動員してもよいですからやってみて下さい。驚くほど力がつきます。

(6) 首都圏の受験生約20万人はこんな難しい問題を解くことができることを感じて下さい。この差を高校3年間でうめないと、首都圏の大学には入れないのです。高校入試の勉強は、実は大学入試の勉強に直結しているのです。高校入試の受験勉強をいかに充実してやったかで、高校入学時の学力が決まります。単願や推薦入学が決まった人、私立高校入学が決まった人も3月中旬まで一般の受験生と同じだけの受験勉強をしないと、高校入学時の学力を高く維持できず、3月中旬まで一所懸命机に向かっていた人に追いつき追い越されてしまいます。

(7) 以上が受験勉強の追い込みのコツです。「悩むことなく」「気力を充実させて長時間」「昨年全国の学校で実際に出題された問題を大量に」勉強することが合格のコツです。ぜひ今日からすぐに実行して下さい。

#### 4. おわりに - 開倫塾を最大限活用して下さい -

(1) 家で勉強することが苦手な人は、正式の授業がない時間や曜日でも気軽に開倫塾を自習室として使ってください。学校が終わったらすぐに開倫塾に来て勉強を始め、10時過ぎまで勉強して下さい。開倫塾では受験生の皆さんが十分勉強をして実力をつけ合格してくれることが最もうれしいことです。開倫塾を十分活用して下さい。

(2) ただし、自習室のルールを必ずお守り下さい。

担当の先生に予め許可をもらうこと。

使用していない教室で、担当の先生が指示した教室を使用すること。

先生の指示通り自習をすること。してよいのは受験勉強だけ。おしゃべり、携帯電話は一切禁止。他人の迷惑になる行動をする人は一切お断りします。(即刻退室を命じます。)

(3) 教室使用についての費用は一切頂きません。使用は塾生に限ります。

## 希望校合格を一年がかりで勝ち取ろう

開倫塾

林 明夫

### 1. まずは志望校を明確にしよう

ものごとをするときに、目標が明確にあるのとないのとは、エネルギーの量と方向がずい分違ってきます。私立中学校・高校・大学等の入学試験の合格を目指し勉強をするときも同じで、どこの学校に合格するために勉強をするのだという目標が明確にある方が、合格に向けての勉強の絶対量も多くなり、傾向にピタリと合致した勉強が可能になります。受験学年になりただ何となく机に向かい本を開くのととは、雲泥の差が出ます。まずは、どこの学校に合格したいのかを明確にしましょう。

### 2. 受験の日程を逆算しながら明確にしよう

何十年も行われている入学試験なので、いつごろどのようなことがあるかは一度入試を体験した人なら誰でも知っています。どのような日程でどのようなことがらが行われるのか、入試までの日程を明確に理解しておきましょう。その度ごとにあわせてすむからです。

(1)入試日 本年度の場合、3月8日(月)に栃木県・群馬県とも県立高校の入学試験が行われます。

\*ということは、希望する県立高校に合格するだけの学力は3月8日までにつけておかなければならないことを意味します。開倫塾が3月6日に新学年の授業を開講する最も大きな理由の一つは、県立高校の入試日までの1年間、他の新中3生よりも1か月早く受験生になり、入試5科目の実力をみっちり身につけてもらいたいとの願いからです。

(2)私立高校単願・併願入試 毎年1月中旬から2月1日にかけて行われています。

\*従来ですと、新聞の報道の通り、「業者テスト」(下野模試・栃木模試・学文館模試・新教育模試等)の結果の偏差値が内申書の内容の一部として各中学校から高校に報告される例が多かったようです。しかし、新中3生については、文部省が中学校内での業者テストの実施とその結果の報告を禁止しましたので、私立高校単願・併願の調査書の中に業者テストの偏差値が記入されることはなくなると考えられます。その結果、1月の中旬から下旬に行われる私立高校の単願と併願の入学試験は文字通り「実力試験」となり、何点得点できたかと、偏差値の添付なしの中学校からの調査書によって行われるものと予想されます。そこで、今までにも増して、各私立高校の出題傾向に合致した直前の受験勉強が必要となります。

(3)私立学業特待試験 12月25日の足利学園高校の学業特待試験を筆頭に各高校で「学業特待試験」が12月中・下旬に実施されます。

\* 開倫塾でも 460 名の在籍者中 380 名と、8 割以上の塾生が今年度も 12 月のうちに私立学業特待試験での合格を果たしています。恐らく一つでもいいから早めに合格校を確保しておきたいとの受験生の心理状況が、このような高い受験率・合格率となってあらわれてきているように思います。開倫塾では、塾生の 8 割以上が受験する私立学業特待試験で全員に合格を果たして頂けるよう、例年 11 月 3 日に足利学園高校をお借りして「私立学業特待模擬試験」を独自で実施。試験後会場内で詳細な解説・解答授業を実施すると同時に、予想問題集を発行し、11 月と 12 月の 2 か月間の私立学特入試に向けた家での勉強に役立ててもらいたいと希望しています。県立高校を目指す大方の受験生は、12 月の私立学業特待試験の合格を果たした後、1 月、2 月と 3 月上旬までの約 80 日間は県立対策一本に絞り込む傾向にあります。ただ、12 月に受験した私立学業特待合格校が自宅と時間的にもあまりにも離れている場合には、1 月中旬から 2 月初めにかけて近場の私立高校 1 ~ 2 校を併願で受験して合格を果たした後、県立高校入試に臨む人もかなりいます。

(4) 受験校決定三者面談 11 月下旬から 12 月初旬に各中学校において「担任の先生」「本人」「保護者」の「三者」が「面談」し、どこの高校を受験するのかをほぼ最終的に決定します。時折決定が 1 月にずれ込むこともあります。担任の先生は大量の調査書を細心の注意でいねいに作成しなくてはなりませんので、なるべく早めにクラス全員の受験校を決定しなければなりません。その時期が通常は 11 月下旬から 12 月初旬です。

\* この三者面談で用いられる資料が、従来は学校でのそれまでの成績表と「業者模擬テスト」でした。新年度からは文部省が「業者模擬テスト」の中学校内での実施を全面的に禁止する方針を打ち出したので、学校の成績が今まで以上に重要視されることが予想されます。「模擬テスト業者」が学校外の会場を借りて「会場模擬テスト」の形で行うことが最も予想され、中学校でも参考までにその偏差値を生徒を通じてもってこさせ、高校に示すことはしないまでも、進路指導の上で参考にするのは幾分予想されます。が、今までのように全面的に業者模試の偏差値を中心に志望校決定が行われることは少なくなると予想されます。それゆえ、「業者模擬テスト」にも十分注意を払いながら、学校での平常の学習に熱心に取り組み 1 学期の中間・期末試験と 2 学期の中間試験でよい成績を取っておく必要があります。(内申書には 2 学期の期末試験の結果まで書かれますので、十分な取り組みをする必要があります。)

(5) 業者模擬テスト(「会場」テスト) 従来ですと 10 月、11 月、12 月の業者模試が中学校で行われ、志望校決定の上で最重視されてきました。しかし、新年度からは会場テストという形以外では行われないと予想され、また、学校でも進路指導には直接使用しないと推測できます。ただ、これ以外に各中学校間の学力レベルの差を実質的に見ながら志望校を決定することは難しいとも考えられ、非公式の形で参考にするのではないかとの推測もできますので、受験生としてはめかりなく、従来の受験生と同様に対策をすべきかと考えます。

\* 秋からの模擬テストでよい点を取るためには、夏休みまでに 1・2 年生の復習を一応終了させておく必要があります。9 月になってから急に勉強を始めて点を上げようと思っても、急にはよい成績は取れません。それゆえ、夏休みには 1・2 年生の復習にラスト・スパートをかけ、得点力を培わなければなりません。「業者模擬テスト」がどうなるかが、十分に「実力」があれば希望の学校には合格できるし、実力が不十分なら合格は難しいのが現実です。各科とも 2 学期

には3年生の内容で理解することが難しい内容が多く出てきますので、夏休みのうちにぜひとも中1・中2内容について入試レベルにまで到達することをおすすめします。そのためには、2年生のうちに中1・中2内容の勉強を一応終えた上で、春期講習会から7月21日の地区大会までの1学期のうちに、1回目の中1・中2内容の復習を終わらせ、夏休みの40日間で2回目の中1・中2内容の入試レベルまでの本格的な得点力アップを目指すべきかと確信します。

(6) 実用英語技能検定3級・4級試験 4級に合格していない新中3生は、6月13日の検定で全員合格を果たして下さい。その上で、全中3生は10月17日(二次11月28日)に3級合格を果たして下さい。英検に合格していると入試でもよい成績が取れると同時に、中学校から高校への内申書の特記事項に記入されますので入試にも直接役立ちます。

\* 開倫塾では全力を傾けて英検合格に向けての指導をします。

### 3. 一つ一つの身近な目標を確実にクリアしながら希望校合格を果たそう

それぞれの時期に、何をどのようにしなければならないのかを明確に理解したら、あとは素直な心でその通りやるだけです。がんばりましょう。

開倫塾ニュース1992.4月号巻頭言です。御参考まで

## 新学年を迎えるにあたって

- 立派なノートをつくらう -

開倫塾

林 明夫

### 1. 『手で書くこと』

あなたが注意深く作り上げたものだけに、書物よりも貴重なのは、あなた自身の書いたものである。趣味のことに戻るならば、趣味をもって - きちんとした書体、平均した余白、気に入れば、赤インキで、すっきりとした見出しをつけて - ノートを作りたまえ。

書く仕事には、ノート・ブックを使うか、ルーズ・リーフなり、カードを用いる。

カリキュラムの異なった科目に、生徒は各先生の指示に従って、授業用のノート・ブックを用いる。一言だけ言っておこう。講義の単なる筆記で終ってはならない。例えば歴史のノートは事実の重要なものだけを書き込むべきで、またその事実、あなたの考え出した、授業全部を一目でありありと思い出させるような順序に従って配列すべきである。

しかし授業用のノートの他に、好きなことを書き込む、1、2冊の個人用ノートも持つのがいい。

それは、音楽のような美しさをもち、魅惑される美しい詩を書いてもよいだろう。注意深く筆写し、記憶の中に埋まり込むまで、何度も読み返して楽しみたまえ。しかしまた、集まりで使えるちょっとした独白を集めたり、ユーモアのある表現や、心を打たれた思想をノートしておくこともいいだろう。

好みの筆写に使われた時間は時間の無駄だ、という人もいるだろう。あなたの自負する最も完全なノートによる抜粋よりも、はるかに上等な選文集があると人はいうだろう。

そんなことは考えないでおいていい。あなた以外の人にとっては、本屋で売られているこれらの本は、あなたの抜粋集よりも好ましいものだろう。しかしあなたにとっては、まさにそれがあなたのものであるという理由で、あなたの抜粋集に匹敵するものは他にはないだろう。それに、大部分の人にとって、筆写以上に精読するのによい方法はないのだ。まずペンをとる前に、あなたの選文集に入れるだけの価値があるかどうかを確かめるためには、本文を何度も読んだことだろう。それからあなたの作業を最少のものに切りつめるためには、興味を引く展開がどこで始まり、どこで終わるかを決めるようにするのに、本文にもう一度戻らなければならない、それは、思考の分析のすばらしい訓練になるのだ。最後に、書くことによって、あまり見慣れない語に立止まり、刺激的な主張を吟味し、示されたイメージに基づいて夢想するだろう。外からあなたを見ている人は、あなたが、筆写する仕事しかしていないと思うだろうが、自分のしていることをよく観察すれば、あなたの手仕事には深い文学的研究が重なり、書き、考える技術へのすばらしい入門になることをあなたは確認するだろう。

何度も読むこと、暗誦すること、さらにいいのは、ゆっくりと、版画家の慎重さで書くこと、立派なノートに、美しい余白をとって文字を書くこと、充実した、均衡のとれた美しい文例を筆写すること、これこそ、思想のための巣を作る優れた、柔軟体操である。

(アラン『教育論』 1932)

生まれつきの才能や、恵まれた環境で自分の蔵書のうちに避難の場を見出す人達がいる。自分の本について「これは人生の旅に見出した最良の糧食であり、これが不足していると言わねばならぬ教養人を見ると気の毒でなくなる」と言った、《書庫》にいるモンテーニュのように。さらに強烈なのは『法の精神』の著者の場合で、自画像を書いて次のように付記している。

研究は私にとって、人生の不快に対する最良の薬であった。どんな苦しみでも、1時間の読書がとり除いてくれた。

(モンテスキュー『ノート』 1741)

多分、モンテスキューは大げさに言っているのであろう。1時間の読書で真の苦しみから解放されるとするならば、彼は人間ばなれしているように思われるだろう。他方、この思想の世界に生きるインテリに効く薬が、すべての人にとって同じように有効な万能薬となり得ると思ってはならない。人生が苦しい時には、気力を失わせる考えを追いはらう、気晴らしを見出すことが出来なければならぬ。しかし真の教養人にとっては、読書がそれにあたる場合が多い。』

\*「公民の倫理」(入門・哲学講義) P・フルキエ著 久重忠夫訳・筑摩書房刊(1977年9月25日)  
92～93ページ。

2.長い引用になりましたが、本書は、フランスのリセで使われている古典的名著「哲学講義」の著者、ポール・フルキエが中学生(リセ、コレージュの前期課程の生徒)のために書いた倫理・公民の教科書『今日と明日ー反省と展望』の翻訳からの引用であります。

少し読みにくい文章ですが2～3回繰り返して読んでいただければ、開倫塾の塾生の皆様にも著者が何が言いたいのかわかりになると信じます。

新学年を迎えるにあたり、新しい学校や学年で何を学ぶかが決まり、テキストも決まったところで、ぜひこの文をヒントに、ノートの作り方にも工夫をこらしていただきたく希望します。

3.ゴールデン・ウィーク終了までに1科目でもよいから学校の教科書を1年分(1冊)予習してしまおう

新学年が始まり、学校からは教科書が配付されたことと思います。授業が始まるまで教科書を開かないのでは、あまりにも消極的すぎます。どんどん予習をしましょう。

(1)英語 ノートの左ページに英語、右ページにその日本語訳を書いてみましょう。わからない単語は辞書で調べることも当然です。英語好きの人は、ゴールデン・ウィークが終わるまでに、最後の課までこのやり方で予習し終えて下さい。(中学1年生から高校3年生までこのやり方が最も力のつく予習の方法です。)

(2)算数・数学 遠慮は要りません。教科書をどんどん進んで下さい。新高1生はゴールデン・ウィーク終了までに、とにかく歯をくいしばってガイドを使ってでもO.K.ですから教科書を終わらせて下さい。高校時代がバラ色になります。

(3)国語 横になりながらでもよいですから、教科書を1冊小説を読むつもりで読んでしまうことです。通知票で最高の評価が取りたかったら、ゴールデン・ウィークの終わりまでに辞書を使って意味調べをすればよいだけです。

(4)理科・社会 この2科目は、サブノートづくりに限ります。私は、中3生のときに、ゴールデン・ウィークが終わるまでに公民のサブノートを作り終え、社会が大好きになりました。皆さんもお試し下さい。

\*ものごとをやるときは、何事も積極的に取り組むことが大事です。どんどん予習をし、自分の力で自分の得意科目を一つでも作り上げて下さい。1科目でもよくできる科目があると、それだけで学校生活は楽しくなるものです。

## テストをバネに学力を身につけるとはどのようなことか

- テストを積極的に受ける基礎知識 -

開倫塾

林 明夫

1. テストは何のために受けるのかを考えよう。

学生という職業に従事する人にとって、「テスト(試験)」は避けられません。教え手が教わり手を「テスト」つまり「評価」する意味はたくさんあると思われませんが、今回は、学ぶ側つまり学生がテストをどのように受けるべきかを考えてみましょう。

2. テストは、不確かであった自分の学力を確かなものにするために受けると考えよう。

ものごとに取り組むとき、いやいやながら被害者になったような気分で消極的にやるのと、その中に積極的な意味を見い出して、自分のため、みんなのためにやるのとでは、行って帰るほどの違いがあります。まして、一つの科目や一つの分野を勉強するという目に見えない頭の中での作業・精神的な作業の場合には、「心の持ちよう」「積極的か消極的か」がその結果にとても大きな影響を及ぼします。

そこで、一つの科目や分野を習得する場合に必ず行われる何回かのテストを受ける場合にも、教わり手つまり学ぶ側(学生・生徒)は、テストに積極的な意義を見い出して自分のために一所懸命に取り組む方が、いやいや被害者意識で仕方なくテストの日を迎えるよりは何百倍も高い「学習効果」を期待できると考えられます。

テストを受ける際に学生は次の姿勢で臨むべきであると私は確信します。

「このテストを通じて、私はテスト範囲について今まで不確かであった知識を確かにし、100%完全に身につける。そのために私はこのテストに積極的な姿勢で臨む。」

先生に教わっているときは、初めてであるからあまりよくわからない・不確かであることもある程度は仕方ありません。しかし、一区切りついたところまで終わった後は、ここではどんなことを教わるのかが大体わかるし、その内容についてもやさしい問題なら解けるくらいにまでなっています。後は自分の力で不確かであった知識や理解をゆっくりでもよいから確実に自分のものにする作業をするだけです。都合のよいことに、先生はちょうどそのころを見はからって小さなテストや少し大きめの定期的なテストを用意して下さっていると思えばよいのです。

定められたテスト期日までに、授業で使ったテキストや先生のことばを書き写したノートを使って、不確かであった知識を確かにする作業を十分にしなければなりません。繰り返し教科書やノートを読み直し、覚えるべきところは覚えることも常識です。もし一人で勉強していてわからないところがあったら、辞書や参考書、百科事典などにもあたるのが大事です。そのために、学校には「図書館」があるのです。それでもよくわからなければ、教えて下さった先生を職員室にたずね直接教えて頂くこ

とです。皆さんが就いているのは学生という職業なので、テストのために教科書やノートの内容を覚え、図書館でものを調べ、それでもわからなかったら先生のところに直接尋ねに行くことは「常識」です。何のためらいもあってはなりません。

学生にとって本当によい時期によいテストがよく準備されているなあと、感心するほどです。「テスト」も「文化」の一つかもしれません。

\* 高校入試は、中学時代に行った勉強の総復習、不確かであった知識や理解を 100 % 完全に身につけるために受けるのだと思えばよいのです。事実、日本国民の基礎学力が世界各国に比べここまで高いのも、ほとんど 100 % 近くの中学生在が 15 歳の一時期だけかもしれませんが半年近く真剣に文字を書いたり、計算をしたり、基礎的なことをいろいろ勉強してきた結果かもしれません。日本国民の基礎学力の底上げに、高校入試は非常に役立っているとも考えます。

### 3．開倫塾のプレ定期テストの最大活用を

開倫塾では新年度から、各中学校・高校の中間・期末テスト 2 週間前に、プレ定期テストを実施します。範囲の内容をテスト期日のおよそ 3 週間前までにほぼ完全に指導し、2 週間前に予想される範囲の中で出題が予想される基礎的な問題(少しは応用問題も)を解いてもらいます。塾生の皆さんは、定期テストの 3 週間前までにほぼその内容を学校に先立って開倫塾で教わり、2 週間前までに 1 回目の試験対策を行い、プレ定期テストを受験。もし間違えたところがあれば、本番のテストまでの残り 2 週間で集中的に 2 回目の対策を行います。そして、定期テストで 100 点を取り、その科目の一定の範囲まで完全に学力を身につけるのです。

このような計画を立て、かなりの準備をこれまで重ねてまいりました。塾生の皆様にはぜひ、テストの準備勉強を通じて完全な学力を身につけるのだという積極的な姿勢を身につけてもらいたいと希望します。

\* 開倫塾で行うほとんどすべての試験には、詳細な範囲表が付いています。その範囲表には、教材の名前と学習すべきページが具体的に記されていますので、十分活用して下さい。出題範囲の項目だけ見て自分で勉強できれば一番よいのですが、教材名とページまで示さないと勉強に手がつかない人もずい分いますので、できるだけ詳細に示させていただいています。

### 4．テストは終わった後が大切。問題・解答用紙・解説・資料等すべてのものはきちんとファイルして一定の場所に保存しておくこと。よくできなかつた問題は何回もやり直しておくこと。

あらゆるテストは自分の弱点分野を探し出してくれる有難いものです。マルのついていないところはすべて自分の弱点分野ですから、自分を向上させてくれる「宝物」とさえ言えます。テストでできなかったところを自分の「宝物」にするためには、テストに関係するすべてのものを確実にファイルし、きちんと一定の場所に保存する「習慣」を身につけることが大事です。「問題用紙」「解答用紙」「解説集」「各種データ」等テストに関連したものを丸めて捨ててしまわないで、必ずファイルして保存すること。保存さえしてあればいつでも取り出せます。いつでも弱点分野を勉強し直せます。しかし、保存していないことには話にもなりません。勝負は初めから負けたも同然です。まとめて、必ず決まった場所に保存しておくこと。

間違いノートを科目ごとに作成することが、最もよい弱点克服方法です。ノートに間違えた問題を

書き写すこと。もう一度やってみること。正解もていねいに書き写すこと。そして、もう一度やってみること。よくわからなければ、教科書や参考書、辞書、百科事典の説明も書き込むこと。似たような問題を、問題集でやってみること(問題集を使うときはその問題も書き写すこと)。問題や解説が長すぎて写すのに時間がかかりそうならば、コンビニへ行ってコピーし、間違いノートに切って貼りつけること。

\* 本当に頭脳がフル回転するのは試験直後なので、試験直後の2～3日は遊ばないで、試験範囲の次の項目・分野のところを1～2章分予習してしまうのが一番よい。新しい分野を100%完全に理解するためには、その手前までを100%理解することが必要であると言われていますが、逆に言えば、その手前までを十分に理解していれば、新しいところは一気にマスターできるということです。試験直後がまさにその時なので、遊ぶには本当にもったいないと言えます。元気な人はがんばって下さい。

## これからの社会で求められる能力とは

開倫塾

塾長 林明夫

団塊の世代が 75 歳を超える 2025 年から高齢化に伴う介護・医療・福祉等あらゆる問題が現実化する。社会の負荷を最小限にしながら平均寿命を少しずつでも伸ばし続けるには、当事者であるわれわれ団塊の世代の自覚と、いつまでも若々しく生きるための能力強化が求められる。

とりわけ、生活習慣病の発症や再発の防止、認知症や寝たきりにならないことは、社会人としての最も大切な能力と考える。

60 歳定年制の開倫塾では、無理のない形で 85 歳まで仕事を続けることを全社員にお願いしている。ただし、社会の変化に対応した仕事ができる能力を身につけることが欠かせない。

円高のため生産拠点を海外に移転しつつある製造業や、環境・介護・観光等の新成長分野を目指す方々に欠かせないのは、IT と英語、専門領域の深い知見だ。

現在では世界最高レベルの一人当たり GDP を誇る北欧のフィンランドが経済危機に陥った 90 年代に国を挙げて取り組んだのが、国民一人ひとりの IT、英語、専門領域の能力強化だった。

国も自治体も雇用対策はフィンランドを参考にし、思い切ってこの 3 分野に絞り込んだらどうか。

サービス産業や農業・林業分野、非営利分野の生産性向上と独自能力や競争力強化にも、IT と英語、専門領域の深化は不可欠だ。

学校時代に身につけておくべき能力とは何か。教科教育、教科外の教育活動はすべて社会に出て役立つ。受験勉強もそれまで不確かであった知識を十分理解し、定着させるために行うと考えれば、役に立つ。

これに加えて、これからの社会で役立つのは、自分や社会の課題を発見する能力と、発見した課題を解決する能力だ。

そのためには、学び方を学ぶ能力と、読書による思慮深さを身につける能力、新聞を読んで自分の力で考える能力、つまり批判的能力を身につけることが大切だ。

国や自治体は、これからの社会で求められる能力を身につけるサポートをして頂きたい。大学や公立図書館の 365 日、朝 6 時から夜 10 時すぎまでの開館は、最も有効な支援策の第一と考える。

社団法人経済同友会(東京)からの派遣講師として行った、谷原中学校での出張授業の講義内容です。御参考まで。

## 働くことの意義(働くとは何か)を考える

——職場での礼儀・マナーとは——

経済同友会

林 明夫

([www.kairin.co.jp](http://www.kairin.co.jp))

### 1. はじめに—自己紹介・私の好きな言葉—

- (1) 一生勉強、一生青春
- (2) ブルドッグ魂(食いついたら離すな)
- (3) 練習で泣いて試合で笑え
- (4) 練習は不可能を可能にする
- (5) 一所懸命(一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組む)
- (6) 人生逃げ場なし
- (7) 会った人は皆友達
- (8) いつまでも若々しく生きる
- (9) 目には遠いが心は近い

Q. 皆さんの好きな言葉は何ですか。教えて下さい。

A.

### 2. 働くことの意義(働くとは何か)を考える

- (1) 何のために働くのか
  - 生活できるだけの収入を得るため
  - 自己実現をするため
  
- (2) 仕事とは世の中のお役に立つこと、お客様のお役に立つこと
  - お役に立つとは、世の中の問題やお客様の立場に立って考えた上で、
  - (ア)世の中の問題解決になること
  - (イ)お客様の問題解決になること
  - 結果を出さなければお金はもらえない。収入を得ることはできない。

3 . 世の中やお客様のお役に立つ(問題解決をすることでお役に立つ)だけの結果を出すためにはどうしたらよいか。

(1)世の中やお客様の抱える問題とは何かを、世の中やお客様の立場に立って知る努力をし続けること

(2)世の中はどのように動いているかを知ること

新聞を毎日たんねんに読むこと

TV やラジオのニュースを熱心に視聴すること

現場に行って実際に見聞すること

(3)お客様は何に困っているかを知ること

お客様から話を聞くこと

仕事の現場に行き、お客様の立場でものごとを考えること

- 相手の立場に立つこと -

(4)自分の仕事は何の役に立つかを知ること

- 使命感をもって働くこと -

4 . 現場での礼節、マナーとは一躰(しつけ)を身につけること一

(1)現場には定刻前に到着する一時間前に到着するのも能力一

早寝、早起き、朝ごはん

トイレは済ませる

交通事故に気をつけて「元気」に出勤する

(2)人の話を相手の目を見てよく聞き、「理解」(うんなるほど)するよう努力する

話の内容はできるだけメモ(ノート)を取る

\*メモ(ノート)が取れるのも能力

メモ(ノート)した内容を何回も読み直し、身につけるのも能力

\*「音読練習」「書き取り練習」で定着を

「理解」し、「定着」したことを実際に仕事に使える(「応用」できる)のも能力

\*教えて頂いたことをどんどん使ってみよう

(3)躰(しつけ)とは

美しい立居振舞たちいふるまい(服装第一)

敬語表現けいごひょうげんを含む言葉遣ことばづかい

(ア)です、ます調でていねいに話ができること

(イ)「あいさつ第一」

(4)5S

整理(せいり)

整頓(せいとん)

清掃(せいそう)

清潔(せいけつ)

躰(しつけ)

5. おわりに一講師からのメッセージー

(1)中学校での勉強は世の中に出てすべて役に立つ。

(ア)学校での教科書の勉強は世の中に出てすべて役に立つ

(イ)学校での教科以外の勉強・活動も社会に出てすべて役に立つ

(ウ)学校での勉強や活動はすべて世の中に出て役に立つ。

(エ)だから、しっかりと教科書の勉強をし、学校での様々な活動に参加して立派な人間に育ってほしい

(2)中学校時代の友人は一生の友達。中学校の先生は一生の先生(恩師)。友達とは仲良く、先生には尊敬をもって教えをうけること。

(3)健康第一(心の健康、身体の健康)

(4)「学力の高い人」は次のようなことを身につけている。

読書による<sup>しりよぶか</sup>思慮深さ、自らを振り返る能力を身につけている

(ア)本格的な読書を

(イ)図書室や図書館を使いこなす能力を身につけよう

(ウ)「書き抜き読書ノート」をつくろう

新聞を読んで自分の力で考える能力を身につけている

「批判的思考能力」(critical thinking クリティカル・シンキング)を身につけている

(ア)新聞は毎日40分～60分は読もう

(イ)図書館に週に1回以上行き、いろいろな新聞を読み比べよう

(ウ)新聞を切り抜き「スクラップブック」をつくろう

勉強の仕方、一度理解したものをどのように身につけるかをいつも研究して、どんどん実行している

「学び方を学ぶ」能力を身につけている

(5)「自己責任」「自助努力」—自分の未来は自分の手で切り開こう—

ただし、無理は<sup>きんもつ</sup>禁物

「人生は長い。ゆっくり歩きながら考えよう。」

以上

御清聴を感謝申し上げます。

CRT 栃木放送「開倫塾の時間」2009年7月11日の放送内容速記録です。御参考まで。

## 犯罪の加害者、犯罪の被害者にならないために

- 「社会を明るくする運動」期間中に考える -

開倫塾

塾長 林 明夫

### 1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

今月は、「社会を明るくする運動」が全国各地で展開され、栃木県でも熱心に行われています。今日は、それに関連するお話をさせていただきます。

### 2. 犯罪の加害者、犯罪の被害者にならないために - 「社会を明るくする運動」期間中に考える -

(1) 「社会を明るくする運動」とは、どのようにしたら犯罪を犯す方が少なくなるのか、犯罪の被害者になる方が少なくなるのかを考える運動です。

(2) 足利市には、中世に作られた日本古来の大学といわれる史跡足利学校があります。足利学校では、儒教の聖典である「論語」についての研究が非常に盛んでした。私は足利市在住ですので、足りない勉強を補うために、論語を時々読んでいます。

(3) その論語の最後のほうに、4つの悪いこととは何かを示した言葉があります。その1つが「子曰(い)わく、教えずして殺す。之(これ)を虐(ぎゃく)と謂(い)う。」です。通訳は、「孔子は言いました。教えずしないでいて殺すのを酷(むご)いという。」となります。これはどのようなことかといいますと、道徳教育もしないでいて、罪を犯したからといって死刑にするのはあまりにも情け容赦がないということです。

(4) 人を殺してはいけないことは、普通に考えれば誰でもわかることですが、中にはわからない方もいます。ですから、親や先生、地域の方々などでよくわかった方が「人を殺すのはいけないことだよ」と子供たちによく教え、また「人を殺してはいけないよ」と子供たちによく諭す教育が大事であると思います。

(5) このほかにも、教えなければわからないことが子供たちにはたくさんあります。例えば、「万引きをするのはよくないことだよ」とよく教えてあげてください。刑法でも、人のものを盗むことはよくないとし、窃盗罪が適用されます。「刑法で窃盗罪に当たるのだからやってはいけないよ」

と教えるのも、言い方の一つです。「人のものを黙ってもってきてしまうのは、他人に非常に迷惑をかける行為だよ」と諭すのも一つの言い方です。

(6) また、人を殴って怪我を負わせることは、刑法では暴行罪あるいは傷害罪に当たります。世の中には人を殴っても何とも思わない方がいますので、「それは刑法の暴行罪や傷害罪に当たるのでやらないほうがよいのだ」「他人を傷つけるのはよくないことだから決してやってはいけないのだ」ということを、よくわかっている方が教えてあげたほうがよいと思います。

(7) それから、「金を出せ」などというかつあげ、恐喝も刑法では犯罪に当たります。人を脅してお金や物品を取るなどということはとんでもないことだと教えてあげてください。そうしないと、なかなかわからない子供もいます。

(8) そのほかにも、やってはいけないことはたくさんあります。何が人としてやってはいけないことなのか、何が犯罪なのかを教えないでいると、子供たち、あるいは大人の中にもそれはやってはいけないことだとわからずに、それどころか正しいことだと思ってやってしまう方がいます。ですから、その是非をきちんと教えてあげてください。

(9) 私がたまたまある公園にいたところ、そこに設置されている広めの噴水の上でローラースケートで遊んでいる大人がいました。「公共物を傷付けるので、そのような所ですべらないほうがよいよ」と注意すると、「そんなことを言われる筋合いはない」と10人ぐらいに取り囲まれたことがあります。

当然、公園は公共物ですから、公(おおやけ)のお金で作ったものです。噴水の上でローラースケートをすれば、それが傷つくことは十分に有り得ます。その方たちはいくら傷付けても気にならないのかもしれませんが、その後に公のお金を何百万円も使って補修しなければなりません。それを知らないふりをしてローラースケートに興じている大人もいるのです。これもよくないことです。このように、大人でもものごとの善悪がわからない方がいるのですから、そのような方にはよくわかっている方が言葉を尽くして教えてあげることが大事であると思います。

(10) 大麻を栽培して逮捕された学習塾の先生がいますが、これもよくないことです。もしかしたらその先生には、他の国では許されている大麻の栽培が日本で許されないのはおかしいという考えがあったのかもしれませんが、しかし、日本には日本の法律があって、国内に居住している人はそれに従って行動しなければならないのです。それをよく知っている方は、それを知らない方に教えてあげることが必要になります。

### 3. おわりに

(1) 今日、犯罪をできるだけ少なくするにはどうしたらよいのか、また、犯罪の被害者になる方をできるだけ少なくするにはどのようにしたらよいのかについて考える「社会を明るくする運動」が各地で展開されていますので、それに関連するお話をさせていただきました。

(2)ただ、中には犯罪に遭いやすい方もいます。例えば、あまりにも薄着でいたりするとそれに対して良からぬ考えを持つ方もいますので、犯罪に巻き込まれないような防御策も必要ではないかと思えます。もちろん犯罪を犯す方が悪いのですが、犯罪に遭わないように気をつけて「自分の身は自分で守る」ことが大事です。

(3)そのためには、犯罪はどのような時に起こるのか、どのような場合に犯罪に遭うことが多いのか、どのように行動すると犯罪に遭いやすいのかなどを考えながら、犯罪に巻き込まれないように十分注意して行動なさってください。よろしくお願い致します。

- 2009年7月11日 林明夫記 -

- 2009年12月29日 追記 -

CRT 栃木放送 『開倫塾の時間』

2010年1月2日(土)放送内容資料

CRT 栃木放送「開倫塾の時間」2010年1月2日の放送内容速記録です。御参考まで。

## 就職難の今こそ新聞を読んで自分で考える力を身につけよう

- 批判的思考能力を身につけるには新聞が一番 -

開倫塾

塾長 林 明夫

### 1. はじめに

明けましておめでとうございます。開倫塾塾長の林明夫です。今年も、また、新年から「開倫塾の時間」をお聴き頂きましてありがとうございます。この「開倫塾の時間」は社会人を含めどのようにしたら効果の上がる勉強ができるかに的を絞った番組で、本年3月で24年目に入る、日本でも、また、世界でも極めてユニークな番組です。私があちこちで勉強させて頂いたことを中心に、どのようにしたらよい勉強ができ、また、その成果を出すことができるかを、今年も皆様とともに考えていきたいと思えますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

### 2. 就職難の今こそ新聞を読んで自分で考える力を身につけよう - 批判的思考能力を身につけるには新聞が一番 -

(1)昨年の12月に東京都世田谷区にあります都立高校にお招きを頂きまして、それぞれ別な生徒を相手に「職業教育」というテーマで50分の授業を2つさせて頂きました。

2 クラスとも、皆様とても熱心にお話を聴いて下さり、また、質問をしてもらうために大判のポスト・イットをお渡ししましたところ、多くの方々がさまざまな感想やコメント、質問を書いて下さいました。私もとても充実した時間が過ごせましたので、とても感動しました。

(2)ただ、その中で1つ気になったことがあります。それは、私は栃木県足利市出身ですので、足利事件を通して新聞を読むことの大切さをお話したかったのですが、足利事件と言っても皆さんきょとんとしているのです。もしかして足利事件を知らないのかと思いそれを尋ねると、知っているという人は2クラスで誰もいない。もしかして新聞を読んでいないのではと思い新聞を読んでいる人と聞くと、読んでいる人は2クラスで誰もいない。そのことがわかりました。

(3)高校生も新聞を読む人が少ないと聞いていましたが、ここまで読まない人が多いのには少し驚きました。家で新聞を取っていない場合が多いので、先生は家で新聞を読むようにはなかなか言えないようです。ならば、図書室や図書館に毎日行って新聞を読むように指導すればよいのですが、それもあまりしない先生が多いようです。その原因は何か。どうやら学校の先生も自宅で新聞を取っていない人が激増しているらしいのです。

(4)なぜ家で新聞を取らないのか。インターネットで読めるからというのが表面上の理由ですが、本当の理由は携帯電話にお金を使いすぎているのと、不況で残業代やボーナスなどが著しく減ってしまい収入が少なくなったためのようなのです。

(5)私は、不況のときこそ、新聞を毎日なめるように熱心に読んで世の中の動きを正確に知り、自分で考える力を身につけることが大事、批判的思考能力(critical thinking クリティカル・シンキング)を身につけることが大事と考えます。

### 3. おわりに

(1)学力が高い人は、読書により思慮深さを身につけ、新聞を丹念に読むことにより自ら考える力や批判的思考能力を身につけていると言われます。

(2)就職難の今こそ読む人が少なくなっている本や新聞をしっかり読んで、高い学力を身につけることが大事だと私は考えます。

(3)大不況の今こそ図書館を充実させ、複数の新聞を読むチャンスや本を読むチャンスをお子さんや市民に与えることが行政の使命と考えます。365日朝5時から夜12時まですべての公立図書館を開館してはじめて、大不況下に社会教育を担当して行政としての責任を果たしたことになります。どのようにしたら今と同じ経費かそれ以下の費用で365日朝5時から夜12時まで図書館を開館できるか、知恵を出し合って考えましょう。

- 2009年12月28日林明夫記 -

冬期講習会中に開倫塾の全校長、全講師の先生方に送ったメッセージです。御参考まで。

冬期講習会中には、毎日小学生は20分、中学生は40分、高校生は60分以上新聞を読み、自分で考える力と批判的思考能力を身につけるよう指導し続けよう!!

開倫塾  
塾長 林 明夫

#### 冬期講習中もNIEを!!

- 1 新聞はインターネットで読めばよい、収入が減りケータイ料金が増えたので家では新聞を購読しない。このような考えで新聞を読まない保護者が激増し、その結果、新聞を読まない小学生、中学生、高校生、大学生、大学院生、専門学校生が大量に発生しています。
- 2 過日、高校1年生の2クラスで授業をした際、足利事件について知っているかを尋ねたところ、誰一人として知る人がいないことに私は驚きました。新聞を読んでいる人が2クラスで1人もいないことを知り、更に私は驚きました。
- 3 学校では、家で新聞を購読していない場合が多いので、「差別」になるから、気の毒だから新聞を読むようにとの指導をしないことが多いようです。学校の先生自身が家で新聞を取らず、インターネットでしか新聞を読まない人が多いため、自分の児童・生徒・学生に新聞を読むことを指導することができない人が激増しています。
- 4 開倫塾は、学校で不足している教育を補うこと、それも徹底的に補うことを教育の内容としています。それが開倫塾の独自能力であり、社会的使命でもあります。新聞についても、学校で読むことを指導していないのなら、開倫塾で徹底的に指導することが、塾生の自ら考える力、批判的思考能力を身につけさせることに役立つものと確信する次第です。
- 5 年末・年始は、各紙が総力を挙げ、その1年を振り返り、新しい年を展望する特集を組みます。冬期講習期間中と正月特訓期間中には、全塾生は新聞を一面からなめるように一言一句丁寧に読むように指導して下さい。  
特に受験生は新聞を丁寧に読むよう指導をお願いします。新聞を読むことで、大量の文章を正確に自分の力で読み、理解する能力が確実に身につきますので、1月初旬からの入試にも極めて役立つからです。
- 6 家で新聞を取っていない人には、冬休みの間だけでもコンビニで新聞を購入することも奨励して下さい。図書館の活用も大切です。図書館に行き、新聞を読むことも大いに奨励して下さい。近所に新聞を取っている親戚や知り合いがいたら、上がり込んででも新聞を毎日読ませて頂くよう御指導下さい。

7 開倫塾の全校長・全講師は前日までの新聞で O.K.ですから、家でお読みになり不要になった新聞を校舎に毎日お持ちになり、塾生に読ませてあげて下さいますようお願い申し上げます。新聞は、その日のものだけでなく、古いものでも読めば必ず役に立つことも御指導下さい。

8 新聞は社会の watch dog(ワッチ・ドッグ、番犬)であることも指導して下さい。社会の問題点にガブツとかみつき厳しく指摘することが、社会の進歩・発展に繋がります。批判のないところに切磋琢磨はなく、切磋琢磨のないところに発展はありません。「新聞は社会の公器」と言われるのはこのためです。

9 新聞に書いてあることはすべて正しいかと言われれば、必ずしもそうではない。1つの角度から見たときに正しいものごとの見方の1つを新聞は示しているに過ぎない。新聞自身がその新聞社の意見表明に過ぎないので、新聞は一紙だけでなく、複数と比較しながら読み続けることも大切な能力といえます。

このような意味で、図書館に週に1日以上は行き、数種類の新聞を読み比べることは大切な能力です。

10 「批判的思考能力」とは何か。世界のあちこち、日本各地、目の前で発生していることの本当の意味は何であるかを自分の力で判断し、その判断に基づいて自分自身の行動を自己責任で決定する能力といえます。

11 親族と名乗る人からの電話が振り込め詐欺か否かを判断するのも、無実なのに逮捕され、起訴され、裁判にかけられたときに「私がやりました」と言うことがどのような結果をもたらすかを判断するのも、批判的思考能力です。

12 自分の身は自分で守る。自分の地域や日本の将来、アジアや世界の未来も自分たちで守る。そのために求められるのが「批判的思考能力」です。

13 新聞は社会の watch dog(番犬)。新聞を毎日小学生は20分、中学生は40分、高校生は60分以上読むことで、塾生の自分で考える力、「批判的思考能力(critical thinking)」を身につける指導をぜひ行って下さいますようお願いいたします。

14 英検2級に合格したら、英字新聞を毎日読み続けるよう御指導下さい。よくわかった内容だけでよいですから、英字新聞を読むことが第一です。よろしくようお願い申し上げます。

感謝

2010年1月13日に開倫塾全校長・全講師各位に送った文章です。御参考まで。

学校成績や偏差値を飛躍的に向上させるには  
- 同じ教材やテストを6回以上繰り返しやり直すことが最も効果的 -

開倫塾  
塾長 林 明夫

本は何回読んだらよいのかを宇都宮大学国際学部の客員教授で、オマーンやネパール大使を務められた神長善次大使に質問させて頂いたら、即座に「それは林君、6回以上だよ」という答えが返ってきました。

様々な方が様々な勉強方法でものごとを身につけようと努力していますが、普通の方が確実に一度「うんなるほど」と「理解」し、また、その内容を「確実に身につける」(定着させる)ためには、最低でも6回は繰り返し学習することが求められます。

音読、書き取り、問題(計算)練習などを組み合わせながら着実に実行すれば、学校成績や偏差値は確実に上昇します。

受験学年は入試の当日、試験問題が配付される直前まで、非受験学年は学年末試験等の当日まで、教科書やノート、問題集、過去問等を最低でも6回は勉強しようを合い言葉に、塾生を御指導下さい。

「練習は不可能を可能にする」(小泉信三先生)。

この言葉を塾生とともにかみしめて、全塾生「一流校合格」(一流校合格100%)と全塾生定期テスト100点取得を目指してがんばりましょう。

「努力は報われる」のが定期試験であり、入学試験です。

よろしく願い申し上げます。

以上

CRT 栃木放送「開倫塾の時間」2009年7月25日の放送内容速記録です。御参考まで。

## 私の好きな言葉

開倫塾

塾長 林 明夫

### 1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

夏休みに入りましたので、今回は、「私の好きな言葉」を紹介させていただきます。

### 2. 私の好きな言葉

(1) 私は足利市立山辺小学校を卒業したのですが、3・4年生の時のクラス担任の岡典子先生から「小学生も新聞を読むといいよ」という言葉を教えていただきました。岡先生のおかげで、小学生も新聞を読んでよいのだと気付き、少しずつ新聞を読むようになりました。

5・6年生の時のクラス担任でとても元気よかった高田健司先生も新聞を読むとよいと勧めて下さいましたので、それ以来、小学生でありながら新聞を毎日読み、少しずつですが大人の仲間入りをしたような気持ちになりました。

私が新聞を読むようになったのは、山辺小学校の3・4年担任の岡典子先生と5・6年担任の高田健司先生のおかげであると思います。

(2) 中学校時代で一番印象に残っているのは、足利市立山辺中学校で2・3年生の時のクラス担任であった岡田忠治先生から教えていただいた「ブルドッグ魂」という言葉です。先生にその言葉の意味をお聞きすると、「食いついたら離さない」という意味であると教えて下さいました。何事も一度始めたら途中で投げ出さないで、粘り強く執念を持って臨むことが大事だよということ、岡田先生は教えて下さったのだと思います。とても印象深い言葉で、今でもよく覚えています。

(3) また、中学校時代に私は柔道部に所属していたのですが、その監督であった椎名弘先生は柔道を教えるのがとても上手でした。先生から教えを受けた中学校は皆、県大会で優勝するというほどでした。椎名先生が教えて下さった言葉は、「練習で泣いて、試合で笑え」です。全くその通りで、厳しくも素晴らしい言葉であると思います。

先程お話ししたように、椎名先生から柔道を教わると、2年生の栃木県新人戦や3年生の県大会で団体優勝するという成績を残すことができました。おかげさまで私も新人戦・県大会で団体優勝したチームにありました。練習は相当厳しかったですが、先生の「練習で泣いて、試合で笑え」の教えに励まされ、仲間もよく練習したように記憶しています。

椎名先生はまた、「自他共栄」、自分も他人も共に栄えることが大事だという講道館の創設者である嘉納治五郎先生の言葉も教えて下さいました。中学生ながら、なるほどその通りだなと思いました。

(4) そのあと、私は栃木県立足利高校に進学しました。足利高校にはマラソン大会があり、「一所懸命」と書かれた鉢巻をもらいました。「いっしょう」は「一」に「生きる」と書くことが多いですが、鉢巻には古い言い方の「一つの所」とありました。これはおそらく足利高校の先生方が、一つの所で命を懸けるくらい熱心なものごとに取り組むことが大事だよということを我々生徒に教えたいと思ったからだと思います。この鉢巻と「一所懸命」の文字も非常に印象深いものでした。

このように、小学校・中学校・高校の在学中にそれぞれの学校でいくつかの好きな言葉に出会うことができました。

(5) 社会に出てから出会った好きな言葉を少し紹介します。私は足利市に住んでいますのでやはり足利市出身の書家相田みつを先生の「一生勉強、一生青春」が一番好きです。相田先生は既にお亡くなりになってしまいましたが、「一生勉強、一生青春」という言葉で、一生懸命勉強し続けると一生懸命青春でいられるよということを教えて下さったのだと思います。

(6) 「教育ある人とは勉強し続ける人」という言葉も好きです。これは、経営学の大家であるピーター・ドラッカー先生の言葉で、先生の著した書籍の中によく出てきます。自分の夢や可能性、よさを伸ばすために、学生時代だけではなく死ぬ前の日までどんなやり方でもよいから自分のやり方で少しずつでもコツコツと勉強し続けることが、人間の生き方として素晴らしく尊いことであると、私はこの言葉を知って考えました。

(7) 日本にヨガを紹介した中村天風先生からは「いつまでも若々しく生きる」という言葉を教えていただきました。これもよい言葉ですね。私は「人生は 105 歳だから、35 歳まではひたすら勉強、70 歳までは仕事や社会活動やよい家庭づくりに励み、70 歳から 105 歳すぎまでは自由自在に自分らしく生きる。このように年齢に関係なくいつまでも若々しく生きることが大事である」と考えます。

(8) ベイトソンという先生は、「自然と精神」という本を著しました。これも私の大好きな言葉です。

### 3. おわりに

皆様にも大切になさっている言葉がいくつかあると思います。時々それらの言葉をノートや日記、手帳に書き出して意味をじっくり考えると、自分自身を見つめ直すよい機会になると思います。夏休みなどはそれをするのに適していますので、自分の好きな言葉をまとめ自分自身をじっくり振り返ることをお勧めします。

- 2009 年 7 月 25 日 林明夫記 -

「書き抜き読書ノート」もお勧めします。

- 2010 年 1 月 11 日校正 -

CRT 栃木放送「開倫塾の時間」2009年7月18日の放送内容速記録です。御参考まで。

## マーケティングとは

- マーケティングの4P -

開倫塾

塾長 林 明夫

### 1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

私は、今月15日の水曜日に足尾に行ってきました。その目的は、2年前に廃校になった足尾高校が最低落札価格2000万円余りで競売にかけられることになったというので、どのようなものか見せていただくためです。

お陰様で、開倫塾には現在7000名弱の塾生が学んでいますので、できれば先生方の研修や塾生の皆様の勉強に役立つような宿泊施設があればと思い、参考のために見させていただいたのです。

足尾高校は素晴らしい高校で、一時は1000名以上の高校生が学んでいました。しかし、2年前に廃校になってしまいましたので、現在はその跡地利用をさまざまな形で考えているそうです。できる限り有効な使い方ができればよいと思います。

足尾に行って目に付いたのは、街に緑がとても豊かになったことです。辺りが青々として、環境について考えたり自然に親しんだりするには本当に適した場所だと思います。皆様も、この夏休みに機会を設けてぜひ足尾に出掛け、足尾のよさを堪能し、また、国民宿舎の「かじか荘」を活用して楽しく過ごしていただければと思います。栃木県には、このほかにもよい場所がたくさんあります。

ところで、13日の月曜日と16日の木曜日にJA(農協)の栃木教育センターで、JAのこれから幹部になられる方々を対象にした「JA中核人材育成研修会」がありました。

御縁があり、私はそこで2日間授業をさせていただきました。テーマは「マーケティング戦略」で、利用者の満足度を最大化するためにはどうしたらよいかというマーケティングのお話をし、参加者の皆様と一緒に考えさせていただきました。

今日は、そのお話を少し紹介させていただきます。

### 2. マーケティングとは

(1) マーケティングとは、物を売るのではなく、物が売れるような状況をつくっていくことです。皆様も仕事をする中で、どのようにしたら売れる物ができるかで大分ご苦労なさっている方もいらっしゃると思いますので、参考になさってください。

(2) 物が売れるようにするためには、「マーケティングの4P」という非常に有名な考えがあります。英語で恐縮ですが、1つはProduct(プロダクト)で、製品やサービスが大事であるという考えです。そして、2つめはPrice(プライス)つまり価格、3つめはPlace(プレイス)つまり場所や流通、4

つめは Promotion(プロモーション)つまり広告宣伝や販売促進が大事であるという考えです。

(3)要するに、製品・サービスや価格、場所・流通の仕方、販売方法・宣伝方法がうまく噛み合わさってはじめて、物が自然に売れるようになる・お客様の満足度の高いものが生まれるという考えを、「マーケティングの 4P」と言うのです。

(4)一方で、「マーケティング戦略」はお客様にとってどのような意味があるのかを深く考えた方もいらっしゃいます。マーケティングの 4 つの P の 1 つ 1 つのお客様にとっての意味を、JA の研修会でも参加された皆様と一緒に考えさせていただきました。最初の P つまり Product・製品やサービスのお客様にとっての意味とは、お客様の問題解決にならなければいけないということです。

お客様は何のためにお金を出して製品やサービスを買求めるのかというと、solution(ソリューション)・問題解決のためであると考えられます。ですから、製品を作ったりサービスを提供したりするときには、お金を出してそれらを買求めたお客様の問題を何らかの形で解決できなければならないということです。

例えば、バスに乗ってきた乗客の方が料金を払うのは、A 地点から B 地点まで行きたいという問題を解決してもらうためです。タクシーも同様で、目的地に到着したいというお客様の問題を解決するためにサービスが提供されるわけです。つまり、お客様の問題解決にならなければサービスにはならない、よい製品ではないという考えです。

(5)次は、Price・価格はお客様にとってどのような意味があるのかを考えてみましょう。価格は、お客様にとっては負担つまり cost(コスト)です。ですから、あまり負担にならないような形で価格を設定しなければ、なかなか買ってもらえるものではありません。ボールペン 1 本が 100 円あるいは 150 円ぐらいであればお客様にとってはそれほど負担にはなりません、1500 円、さらには 10000 円になってしまうと大変な負担となってしまいます。つまり、お客様にそれほど負担を感じさせない価格設定がとても大事になってくるということです。

(6)Place・場所は、お客様にとって利便性がよくなければいけません。例えば、バス停の設置に際しては、乗りにくいような場所では利便性に欠けますので、利便性の高いところを探して設置することが大事になります。

(7)4P の最後の Promotion・広告宣伝や販売促進では、お客様とのコミュニケーションがとれなければ効用にならないという考えがあります。

(8)以上をまとめますと、「マーケティング戦略」では、製品やサービスはお客様にとっての問題解決になるようにすること、価格はお客様のあまり負担にならないようにすること、場所や流通はお客様にとって便利なようにすること、広告宣伝や販売促進はお客様とのコミュニケーションが大事であるということです。

### 3. おわりに

今日は、今月の13日と16日に栃木教育センター(作新学院の裏)で行われた「JA 中核人材育成研修会」の内容をお話させていただきました。JA の職員の皆様は非常に勉強熱心で、これからの農業を支える立派な方々ばかりですので、皆様もJA を大いに活用していただきたいと思います。

- 2009年7月18日 林明夫記 -

栃木県生産性本部サービス産業研究会発表資料

「ハイサービス日本300選」

「ハイサービス日本300選」に開倫塾が選ばれたため、栃木県生産性本部より講演の要請がありました。その発表内容です。御参考まで。

開倫塾  
塾長 林 明夫

#### <サービスの概要>

Q1. 開倫塾のサービスの事業概要、提供しているサービスの内容は何ですか。

A (林明夫。以下省略)

(1)小学生・中学生・高校生を対象とした補習教育と上級学校進学にあたっての受験指導を中心とした教育サービスを行う学習塾が、サービスの内容です。

(2)1979年に栃木県足利市で創業し、1984年に株式会社開倫塾として法人化。現在は栃木県を中心に群馬県、茨城県にも校舎を展開。48校舎。塾生は昨年度ピーク時で6656名。教職員数350名。

#### <サービスに対する基本的な考え方(サービスコンセプト)>

Q2. 開倫塾の教育サービスの特徴は何ですか。どのような教育サービスを目指していますか。

A (1)開倫塾の提供するのは、小学生・中学生・高校生への教育サービスです。小学生・中学生・高校生は学校での教育を受けています。学校教育と学習塾での教育サービスの関係について、開倫塾では、教育の主流(メイン・ストリーム)は学校教育と考えます。また、学習塾は、学校教育で不足する教育を補うことが教育サービスの内容と考えます。開倫塾の教育サービスの特徴は学校教育の不足する部分を補うこと、ただ補うのではなく徹底的に補うことが特徴と言えます。

開倫塾では、一人ひとりの塾生が進学したい学校を「一流校」と定義しています。偏差値の高い塾生はもちろん、偏差値のあまり高くない塾生であっても「一流校」はあります。一人ひとりの「一流校」合格を徹底的に支援することが、開倫塾の教育サービスの特徴です。

(2)開倫塾の目指すのは、「教え方日本一」の教育サービスです。「教え方日本一」を目指すことで、「塾生数北関東一」を目指しています。開倫塾では、「教育の質」を「カリキュラムの質」、「先生(教師)の質」、「マネジメントの質」と考えます。また、「教育成果を決定する要因」を「本人(塾生)の自覚」と「先生(教師)の力量」と考えます。そこで、カリキュラム開発、先生と事務職員のエンパワーメント(能力強化と権限委譲)、塾長・部長・ブロック長・地区長・校長・副校長・講師・事務職員等すべての教職員のスクール・マネジメント能力強化を絶えず行っています。

また、「北関東のすべての自治体に開倫塾の教育サービスを」を合い言葉に、人口2万人以上の自治体に開倫塾を展開。学習塾を選択する際には開倫塾という選択肢を顧客である塾生・保護者・地域社会の皆様にお持ち頂けることを目指しています。栃木県のほぼ全域に開倫塾の展開ができつつありますので、群馬県、茨城県への全面展開で、地方分権改革の「道州制」導入後の「北関東州、塾生数 1」を目指しています。

#### <教育サービス事業を行う上での課題>

Q3. 開倫塾の経営環境と生産性向上に向けて取り組んできた経営課題は何ですか。

A (1)学習塾は規制がゼロですので、参入障壁は全くありません。業界の構造として新規参入業者は絶えず出現、買い手である児童・生徒・保護者は学習塾の教育サービスを購入するに際しては厳しい比較購買(必ず複数の学習塾を徹底的に調査・研究し尽くしてからの入塾と、不満足な場合には即退塾)を行うため、買い手の交渉力は極めて強いと言えます。

また、学習塾に代わる教育サービスである通信添削指導、衛星を使用した学習指導、コンピュータを使用した学習指導、家庭教師、集団指導の他にを行う個別指導、公立学校が行う放課後子ども教室、各種の習い事、スポーツクラブなど代替えサービスの脅威は極めて強い業界であります。

ただし、教材や模擬試験の供給業者については、同様に参入障壁ゼロのため激しい競争にさらされているので、供給業者の売り手の交渉力が学習塾の脅威となっているとは認められません。

最も激しい競争は、学習塾の同業者間の競争であります。各自治体の小学生・中学生・高校生的人数は限定され、少子化のために人数が減少しつつある自治体が大半であります。どんどん減少しつつある児童・生徒を参入障壁ゼロの状況で募集する学習塾業界は、見方によっては「衰退業界」とも言えます。

さらに、世界的不況、超円高のために生じた雇用不安(栃木県をはじめとする北関東は輸出主導型の製造業への就業人口が多いため)、残業代や賃金ダウンのための超買い控え、デフレのための値下げ合戦などが当地の学習塾にも襲いかかって、塾生募集は困難を極める状況に突入したと言える状況にあります。

(2)ただし、デフレのために不動産価格(テナント料等も)は下落し続け、失業率上昇・有効求人倍率の大幅低下のために優秀な人材の採用が可能となり、また、就職難のために中途退社が激減、リテンションが以前と比べ容易になりました。

体制(会社らしい仕組みづくり)さえ整えば、人材難のために本格的に取り組むことのできなかった北関東における私立中学入試、個別指導、高校生への指導、検定試験対策講座(英検、

トピック、数検、漢検、言語力検定)、コンピュータを使用した指導などにも参入が可能となり、垂直拡大が可能となります。多くの地域で開倫塾は地域 1 ないし 2 ですので、マーケットリーダーとしての戦略やチャレンジャーとしての戦略が取れる市場地位(マーケットポジション)にあります。

また、マネジメントの体制が整いつつありますので、不動産価格の下落と有効求人倍率の低下を活用して面的拡大(水平拡大)も可能な時期に突入しました。

現在のデフレは、学習塾業界、とりわけ開倫塾にとって最大のビジネスチャンスと言えます。

(3) 学習塾の生産性は、校舎単位の収益および 1 クラス単位の収益で決定されます。売上が多くても、専任社員が多かったり不動産費や広告宣伝費が多ければ、赤字校舎にすぐ転落します。

1 クラス平均人数を赤字にならない範囲にまでいかに上昇させるか、上昇させた範囲でいかに学習効果を生み出すことができるか。月謝は、各学習塾が自由に決定しますので、いかに競合他塾よりも安い月謝で教育サービスを提供できるかも重要です。

校舎の立地と設計、教室の設計、教材の選定、補助教材の開発、カリキュラム、テストの開発、先生の採用・研修・配置・処遇・評価、価格設定、広告宣伝等「マーケティングの 4P」を顧客である塾生・保護者・地域社会の立場でいかに考え、組み合わせるか(ミックスさせるか)が最大の取り組み課題となります。

開倫塾では、「顧客」を 「塾生」、「保護者」、「地域社会」と定義し、「経営の基本理念」として 「顧客本位」、「独自能力」、「社員重視」、「社会との調和」を掲げています。

#### <教育サービス業務改善(生産性向上)の取り組み>

Q 4 . 開倫塾で取り組んでいる教育サービス業務改善(生産性向上)の具体的取り組みは何ですか。

A (1) 学習塾にとっての生産性は、1 クラス平均人数や校舎の塾生数が最も重要です。そこで開倫塾では、教育サービス業務を 「教育業務(教えること)」、「募集業務(塾生を新たに募集すること、現在の塾生を退塾させないこと)」、「基本業務( 以外の業務すべて)」の 3 つに分類。募集業務を業務の第 2 に掲げ、「新規塾生の募集」と「現在の塾生を退塾させないこと(退塾防止)」で生産性向上を図っています。

(2) もちろん、一定数の塾生が 1 クラスに在籍しても、学習効果が全塾生にもたらされる取り組みは「カリキュラムの質」の向上、「先生の質」の向上の観点から行っています。退塾は顧客不満足から生じるもの(転居を除いて)と考え、その真の原因を推測し、二度と同じ失敗・過ちを繰り返さないために「退塾者サーベイ(調査)」を退塾 3 か月後に塾長室のベテラン職員が電話で保護者に実施。その結果をもちより、担当者が毎月 1 回 3 時間の会議を実施。塾長に対する勧告書(Advisory Report アドバイザリー・レポート)を策定。塾長は全文を全校長にフィードバック。絶えず塾をあげて省察(リフレクション)する仕組みを継続。塾生の継続率の高い、退塾率の少ない校舎の校長は、全校長の前で社内ベストプラクティスのベンチマークとして取り組みの経緯を発表。「暗黙知の共有化」を図っています。塾長はじめ幹部職員は、毎週 1 回以上は同業他社のベストプラクティスのベンチマークを実施。その中心の 1 つは、魅力のある「コース、カリキュラムの設定」と「退塾防止」であります。

(3) 「新規塾生の募集」についても、開倫塾内のベストプラクティス、同業他社のベストプラクティス、異業種のベストプラクティス、競合他塾の競合比較を徹底的に行った上で、開倫塾の独自の方法、各校舎独自の募集方法を絶えず開発しています。

(4) 塾生募集の仕組み、退塾防止の仕組みの見直しは、新年度がスタートするとすぐに取りかかり 1 学期中に終え、夏休みから 2 学期にかけて行う次年度の基本方針の策定作業に役立てています。

#### <顧客ニーズと市場環境の把握の仕方>

Q 5 . 顧客ニーズへの開倫塾の教育サービスの反映のさせ方をお聞きしたい。開倫塾の教育サービスと競合する他社(競争相手)との関係等もお聞きしたい。

A (1) 世界経済、日本経済、地域経済の状況把握、世界の教育制度、日本の教育制度、地域の教育制度の把握、世界、日本、地域の大学・高校・中学校・小学校の状況把握、大学入試、高校入試、私立中入試の状況把握、同業他社で株式上場、店頭公開している会社の状況把握、未上場の同業他社で全国各地域で展開している中堅塾の状況把握、地域に根ざした学習塾の状況把握、開倫塾の展開している地域の競合他塾の状況把握 etc . を綿密に調査・研究した上で、開倫塾の教育サービスに反映させています。とりわけ、「競合比較」と「社内・同業他社・異業種のベストプラクティスのベンチマーキング」を徹底的に行った上で、それをできるだけ簡単な形で開倫塾の既存校で「実験」。今までやっていたこととの誤差を見、比較をしながら、更に、実験を繰り返しながら導入を検討。マニュアルの作成、修正をしながら、全教職員に研修会を通じて浸透させ、スキルの定着を図る。同時に、塾生・保護者・地域社会への広告・宣伝活動を通じて履修者を少しずつ増やし、100 %履修を目指しています。

(2) 時代に合わないコース・カリキュラムはスクラップ、塾生数が減り続ける校舎はスクラップすることも勇気を持って行います(毎月 1 回来塾する CAP 公認会計士のアドバイスが大きい)。

(3) 塾生や保護者が最も困っていることは「受験生としての自覚」が欠如すること。「学習者としての自覚」が欠如すること。「どのように勉強してよいかわからない」こと。そこで開倫塾では「塾生の受験生としての、また、学習者としての自覚を促す」ための仕組みとして、「武者語り」を導入。

すべての授業時間中に 3 分以上、また、1 学期・2 学期・3 学期の初日と最終日、春期・夏期・冬期の年 3 回の講習会の初日と最終日、お盆特訓や正月特訓・英検コースなどオプションコースの初日と最終日には各々 1 時間の「武者語り」をすることが、全校長、全講師の義務事項となっています。何のために学ぶのか、人生とは何か、何のために働くのか、何のために進学するのか、進学して何を学ぶのか、勉強はどのように行ったらよいのか、「学習の 3 段階理論」とは何か、読書の仕方、新聞の読み方、躰(しつけ)を身につけるにはどうしたらよいかなどを、塾生の反応を見ながら自由に熱く語るのが「武者語り」。

「武者語り」をするに際しては、必ず語る内容をメモにまとめ、すべて暗記してから語り、授業後、その反省点を朱書し、ファイル。大切なことは繰り返し「武者語り」と同時に、

塾内に掲示したり校舎通信に掲載。開倫塾内でも「武者語り」のベストプラクティスのベンチマーキング会を実施。

何を語ってよいかわからない開倫塾の先生のために、開倫塾のホームページの中に林明夫のコーナーを設置。塾長が過去に語り、また、書き記した内容を OCW(オープン・コース・ウェア)の形で公表。(この「武者語り」は他塾や他の学校、他企業にも広まりつつあります)

- (4)「武者語り」は「レッスン・プラン」に入れることを奨励。塾生の状況は絶えず変化するので、開倫塾では、すべての授業はその変化に合わせた「レッスン・プラン」に基づいて行うことを奨励しています(義務事項として)。どのような授業展開をするのか予め考える「授業の設計」図が「レッスン・プラン」。「レッスン・プラン」に基づいて授業をし、授業中の塾生の反応もメモ。授業後は、「レッスン・プラン」に省察(反省)内容を朱書きしてリフレクション。ファイリング。「レッスン・プラン」を先生としての成長の記録とすることを奨励している。
- (5)「レッスン・プラン」に基づいて一人で、また、同僚・先輩の先生の前で「模擬授業」をすることも奨励。全国の学習塾・予備校・学校の先生方をお招きして「全国模擬授業大会」も毎年実施。昨年足利市で実施した第4回大会には350名もの先生方が参加。他塾や全国各地の塾団体で模擬授業大会が流行し始めました。競合他社の先生方も参加。技量(教授技術)を高め合っています。
- (6)競合他社はすべてナイス・ライバル(素晴らしい競合相手)。塾長の書いた文章や開倫塾のほとんどの情報はホームページで公表。入塾説明会への参加は自由。全国模擬授業大会への参加も自由。開倫塾で主催する教育経営品質研究会への参加は自由。研修会への参加もほぼ自由。
- (7)競合他社ではないが、栃木県の公立学校現職教員を毎年2～3名、3か月間社会体験研修生として開倫塾では10年以上受け入れています(無料)。また、作新学院高等学校からは4名の現職高校教員を研修生として1年間受け入れています(無料)。

#### <他社との連携・活用した支援システム>

Q6. 開倫塾の業務改善の取り組みや新サービス商品の提供のための他社や支援機構等との業務提携等の状況はどうか。

A ベネッセの「児童英語」やエース-の「e-ドリル」のサービスの提供を受けています。また、メイン教材は学習塾業界の最大教材会社である教育開発研究所と共同開発(全国で開倫塾のみ)。

立地選定については専門のコンサルタントに調査を依頼。その他100以上の団体の会員となり、調査・研究を重ね、その成果に基づいて開倫塾を運営しています。

#### <今後の取り組みについて>

Q7. 今後の取り組みについてどのようなサービス商品を充実させたいと考えていますか。

A 小中高校生以外にも、大学生や社会人に対する教育サービスや、様々な教育機関に対する支援サービスも展開したく考えます。

以上

# 必勝 受験塾

林明夫塾長の中3生指南

1



林明夫塾長

1950年足利市生まれ。塾生数6500人、社員数350人と県内有数の規模の学習塾・開倫塾塾長。C R T 栃木放送で「開倫塾の時間」を担当。宇都宮大学大学院客員教授、マニーマニ社取締役などを務める。



イラスト/伊藤貴代 SHIMOTSUKE GRAPHICS

「自分は受験生である」「自分の未来は自分で切り開く」「志望校合格は自分の力で勝ち取る」という自覚も欠かせません。皆さん、がんばりましょうね。

来春高校受験に臨む中学3年生にとって、時期に応じた対策が大切です。開倫塾(足利市)の林明夫塾長が受験生「ウカルさん」の疑問に答える形で、勉強の方法や志望校の決定などについてアドバイスします。第1回は模擬テストの活用方法です。

◇ ◇

ウカル 模擬テストを効果的に活用するには、どうすればいいですか。

塾長 模試で間違っ

## 模擬テストの活用

### 誤答分析で偏差値アップ

た問題を徹底的に分析(誤答分析)することです。試験終了直後に、一問、一問丁寧に問題を検討。間違った問題

辞書などで、なるほどとよく分かるまで理解することがまずは大切です。理解はしているが、

の練習が必要です。ウカル どんな練習ですか。具体的に教えてください。

塾長 全教科に通じ

出るまでにする繰り返し練習です。ウカル 応用問題ができない場合はどうしますか。

塾長 過去に入学試験や模擬試験で出題された問題を少なくとも5〜6年分、できれば4〜5回ずつ実際に解いてみるのが最も効果的です。過去問を解き、できなかった問題について、先ほどの誤答分析を行うと応用力

が付きまします。本日の下野模試も、誤答分析が終わったら、5〜6回解き直すことをお勧めします。応用力が確実に身に付きますよ。

ウカル やり方次第で差がつきそうですね。

塾長 受験勉強のこつは、勉強時間の絶対量を確保すること、勉強方法を工夫することです。勉強時間が少なければ、また勉強方法がまずければ成績は上がりません。

「自分は受験生である」「自分の未来は自分で切り開く」「志望校合格は自分の力で勝ち取る」という自覚も欠かせません。皆さん、がんばりましょうね。

について、なぜ正解しなかったのか、本当の原因を考えます。

もし、問題や設問の内容がよく分かっていない、つまり理解不足が原因ならどうするか。教科書や参考書、うる覚えや、うっかりミスが原因ならどうするか。一度なるほどと理解した内容を正確に身に付ける、つまり定着させるためには三つ

ることですが声を出して読む音読練習。正確に書けるまでにする書き取り練習。基本的な問題を何度も解くことで、見た瞬間に答えが

ウカル やり方次第で差がつきそうですね。

塾長 受験勉強のこつは、勉強時間の絶対量を確保すること、勉強方法を工夫することです。勉強時間が少なければ、また勉強方法がまずければ成績は上がりません。

「自分は受験生である」「自分の未来は自分で切り開く」「志望校合格は自分の力で勝ち取る」という自覚も欠かせません。皆さん、がんばりましょうね。



2

中学3年生にとって  
高校入試は来春に迫っ  
ています。効果的に勉  
強するにはどうすれば  
いいか、受験生・ウカ  
ルさんは悩んでいます。  
推薦入試の作文対  
策なども含め、開倫塾  
の林明夫塾長がアドバ  
イスします。

◇ ◇

ウカル 効果の上  
がる受験勉強法を教え  
てください。

塾長 受験生として  
の自覚をもって、一日  
一日を大切に過ごす  
ことです。

## 効果の上がる勉強法

# 時間 できるだけ多くとる

ウカル 受験生とし  
ての自覚とは何です  
か。

塾長 何のために受

か。

塾長 読書をする  
と、自分自身を振り返  
る自省心や思慮深さが

で手が回りません。  
塾長 いつもカバン  
の中に1〜2冊の本や

き、勉強の合間、合間  
に読むことをお勧めし  
ます。推薦入試の作文  
や面接でも、読書や新

聞はとても役に立ちま  
すよ。  
ウカル 効果の上  
がる勉強法を教えてください。

塾長 各科目こと  
に、自分はこれで勉強  
するのだという教材を  
いくつか決めること。  
教材を決めたら、繰り返し  
返し勉強し、隅から隅  
まで一語残らず覚えて  
しまうこと。これが受  
験勉強のコツです。

載予定です)  
(次回は11月8日掲

験するのか、合格した  
ら高校で何をやるのか  
をはっきりさせること  
です。

ウカル えっ、そん  
な難しいことはあまり  
考えたことがありませ  
ん。どうしたらそのよ  
うな自覚がもてます

身に付きます。読書を  
して、どのような人生  
を歩みたいのかを自分  
の力で考えください。

新聞を読んで考える  
と、批判的思考能力が  
身につきます。新聞を  
読んで、社会ではどの  
ようなことが起こって

いるのか知り、何のた  
めに学ぶのか、受験勉  
強をするのかをお考え  
ください。

ウカル 受験勉強で  
忙しくて、本や新聞ま

ウカル 受験勉強で  
忙しくて、本や新聞ま



イラスト/小林 一 SHIMOTSUKE GRAPHICS

前の1〜2時間、朝少  
し早く起きて、朝食ま  
での1〜2時間、確実  
に机に向かうことで  
す。これだけでも3〜  
6時間はできますよ。  
学校が休みの日に  
は、学校の平日の授業  
時間にあわせて昼間勉  
強することがコツで  
す。夜は、7〜8時間  
睡眠をとりましょう。  
ウカル どのように  
勉強したらよいのです

高校受験への不安や悩み、疑問など  
をお寄せください。受験生と保護者を  
応援する記事の参考にします。320=86  
86、宇都宮市昭和1の8の11、下野新  
聞社くらし文化部「必勝受験塾」係。メ  
ールはkurashibunka@shimotsuke.co.jp



3

進路や志望高校を決める時期になりました。希望に胸が膨らむ一方、不安も感じている受験生のウカルさん。開倫塾の林明夫塾長は「高校卒業後まで見据えよう」とアドバイスします。

◇ ◇

ウカル 高校入試までもう数カ月となりました。進路や志望校はどのように決定したらよいのでしょうか。

塾長 大切なことは、高校を卒業してからどのような進路をと

## 進路希望と志望校の決定

# 受験生の自覚を持とう

るかで高校を決めることとです。

ウカル 塾長はどのように高校を決めたの

に進学して外交官試験に合格しようと自分なりに方向付けました。そこで、どのような

ら世の中がどのようにいのかを本をじっくり読むのかを新聞を讀んで考えること。どのようす。自己責任、自助努力な人生を歩んだらよ力決めて下さい。自

分の未来は自分の努力、自分の責任で切り開くという意志をもつこと。義務教育は9年間を終了するのですからね。

きちんと摂り、あとは勉強。将来をしっかり見つめ、義務教育9年間の総仕上げと考え、受験勉強に励んで下さいね。

(次回は11月22日掲載予定です)

ですか。

塾長 「将来は弁護士か外交官になりたい」と思っていたので、どうすればなれるかを調べました。弁護士になるためには大学に進学して司法試験、外交官になるためにも大学

大学に進学すれば司法試験や外交官試験に合格するか。そのような大学に合格するには、どのような高校のどのような科やコースに進学すればよいかを考え、足利高校普通科を志望校として選択しました。

ウカル 高校の卒業後のことまで、あまり考えていないのですが。

塾長 今どのような社会なのか、これが



イラスト/小林隆一 SHIMOTSUKE GRAPHICS

ウカル 成績が少し足りないのですが…。

塾長 自分は受験生だという自覚をもち、受験生としての生活に徹すれば、合格まで少し足りない成績もカバーできます。

夜は7〜8時間しっかり眠り、食事は3食

高校受験への不安や悩み、疑問などをお寄せください。受験生と保護者を応援する記事の参考にします。320=8686、宇都宮市昭和1の8の11、下野新聞社くらし文化部「必勝受験塾」係。メールはkurashibunka@shimotsuke.co.jp



林明夫塾長の中3生指南

4

志望校に合格できるだろうか。受験生のウカルさんは不安や悩みを抱えながら勉強に励んでいます。開倫塾の林明夫塾長は「今の勉強は高校入学後も役立つし、社会に出てからはもっと役立つ」と励まし、受験生を支える保護者の役割についてもアドバイスします。

## 受験生の心理

# 自覚強くもち不安除く

塾長 自分の進路を決定する生まれて初めての本格的な試験です。不安なのはよくわかります。でも、不安なのはあなた一人だ

塾長 自分には受験生としての自覚を本人に促す

親の役割とは何ですか。塾長 義務教育はもうすぐ終わるのだから、これからは自己責任、自助努力が大切。

自分のことは自分の力で考え、自分で考えて決めた高校には自分の力で合格しなさい。そう言っ、受験生としての自覚を本人に促す

ことが親の役割と考えます。保護者、親としての方がよいこと、しない方がよいことはあります。

塾長 お子様勉強中は、テレビの音を少し小さめにしたり、あまり大きな声で歓談することはお控えになることをお勧めします。

できれば、静かに読書をしたり、新聞などをお読みにたり、読書により思慮深さを、新聞を読み批判的思考能力を大人として身につける姿を、親は受験生に見せることをお勧めします。

塾長 受験生全員のものです。心配だ、心配だといくら悩んでも、成績は上がりません。悩む時間、心配する時間は一日30分まで決めて、悩み、心配する暇がある

塾長 自分には受験生としての自覚を本人に促す

親の役割とは何ですか。塾長 義務教育はもうすぐ終わるのだから、これからは自己責任、自助努力が大切。

自分のことは自分の力で考え、自分で考えて決めた高校には自分の力で合格しなさい。そう言っ、受験生としての自覚を本人に促す

ことが親の役割と考えます。保護者、親としての方がよいこと、しない方がよいことはあります。

塾長 お子様勉強中は、テレビの音を少し小さめにしたり、あまり大きな声で歓談することはお控えになることをお勧めします。

自分の行きたい高校を自分にとっての「一流校」と考え、「一流校」合格に向けて受験生としての自覚をもって毎日を大切に過ごしましょう。

保護者 受験生をも



イラスト/小林隆一

SHIMOTSUKE GRAPHICS

塾長 高校合格まですればよい、あとは遊んでよいなど決して口にしないようお願いいたします。合格後、本当

高校受験への不安や悩み、疑問などをお寄せください。受験生と保護者を応援する記事の参考にします。320-8686、宇都宮市昭和1の8の11、下野新聞社くらし文化部「必勝受験塾」係。メールはkurashibunka@shimotsuke.co.jp



5

受験勉強もラストスパートの時期になりました。冬休みの過ごし方を思案する受験生のウカルさんに、開倫塾の林明夫塾長は「勉強に集中しよう」と激励します。

◇ ◇  
ウカル 今から冬休みが終わるまで一心不乱に勉強するのは、なぜですか。

塾長 私立高校の学業特待入試や一般入試まであと1カ月を切ったからです。自分は受験生だと言いつ聞かせ

## 冬休みの過ごし方

# 一心不乱に受験勉強を

て、一心不乱に勉強する以外ありません。ウカル 具体的にはどうするのですか。

塾長 受験は体力と気力と集中力です。7

頭の芯が痛くなるくらい真剣に自分の力で考え抜くことです。受験生としての自覚

をはっきりもてば、何時間でも勉強に集中できます。ウカル 休み時間は

塾長 7〜8時間の睡眠時間と食事や入浴、トイレ、学校の登下校など生活や学校に行くのに必要な時間以外、勉強に集中するということです。

ウカル えっ、受験生が7〜8時間も睡眠

〜8時間は睡眠をと

り、体力を保たなければ、気力も集中力も生まれません。

ウカル 気力と集中力を増す方法はありませんか。

塾長 自分は受験生だ、自分で決めた志望校に絶対合格すると、自分自身に言い聞かせることです。自分ほんな生き方をしたいのか、何のために高校に行くのか、高校に行つて何をしたいのかを、

を



イラスト/小林隆一 SHIMOTSUKE GRAPHICS

とらなくていいのですか。

塾長 1〜2時間に1回は休み時間をとった方がいい人とはとりましよう。ただし、長時間勉強に集中できる人は、何時間でも机に向かいましよう。受験勉強に遠慮は不要です。

トは丁寧に予習と復習を。病気のある人は冬休み中に治療してください。

ウカル クリスマスや年末、新年はどう過ごしたらよいでしょうか。

年末年始は新聞社が全力を挙げて紙面を編集します。1日1時間は新聞を読み、世の中のことを考えると、受験にも役立ちますよ。

塾長 一生に一回の高校入試の直前ですから、あまりはしゃぐことなく過ごしましよう。くれぐれもスノボなどで骨折しないように気を付けてくださいね。

ウカル ほかに注意点はありますか。

塾長 講習会のテスト

高校受験への不安や悩み、疑問などをお寄せください。受験生と保護者を応援する記事の参考にします。320=8686、宇都宮市昭和1の8の11、下野新聞社くらし文化部「必勝受験塾」係。メールはkurashibunaka@shimotsuke.co.jp



6

1月初旬から県内の私立高校の入学試験が一斉に始まります。初めての入試に不安を感じる受験生「ウカルさん」。開倫塾の林明夫塾長が、心構えや試験問題対策をアドバイスします。

◇ ◇

ウカル 私立高校の入試に向けた受験体制は、どうすればよいですか。

塾長 私立高校入試に限らず、あらゆる入学試験で学校側が見るのは学力だけではありません。

## 私立高入試への態勢

ません。受験生の人格態度がその学校にふさわしいかどうかも観察されています。

いには、髪形や服装も含まれます。茶髪や下着の見えるようなならしのない服装では合格

のですか。

塾長 県立高校の入試と異なり私立高校では各学校がすべて独自の出題をします。学校によって出題の方法や傾向が違います。そこで、受験する私立高校

の「過去問」、つまり、過去数年間に出版された問題を勉強することが大切です。

ウカル 過去問はどのように勉強すればよいのですか。

塾長 最低でも3年分、できれば6年から10年分の過去問を、制限時間内に解答してみよう。解答してみても、一つ一つの問題についてなぜこの問題が正解できて、なぜこの問題は正解できなかったか、よく理由を自分で考えることです。

# 「美」と過去問の勉強を

ウカル どうしたらよいですか。

塾長 美を身に付けるよう努めてください。美とは「美しい立ち居振る舞い」と「敬語表現を含む言葉遣い」を意味します。

美しい立ち居振る舞い

面接試験などでは、「です・ます調」の丁寧語など敬語表現で話すことが大切です。言い争いをしたり、試験中にうつふせになって眠ってしまうことのないようにしましょう。

入試では、朝、学校の校門に入ってから、校門を出るまでが試験と考えてくださいね。

ウカル 試験問題の対策はどうしたらよい



イラスト/小林謙一 SHIMOTSUKE GRAPHICS

ウカル 試験問題の対策はどうしたらよい

高校受験への不安や悩み、疑問などをお寄せください。受験生と保護者を応援する記事の参考にします。〒320-8686、宇都宮市昭和1の8の11、下野新聞社くらし文化部「必勝受験塾」係。メールはkurashibunka@shimotsuke.co.jp



7

年が明けて、受験生のウカルさんは追い込みの勉強に懸命です。開倫塾の林明夫塾長は「頑張れ」とエールを送りつつ、万が一の場合にもあわてないよう、入学試験日の緊急対応について考えておくことを勧めます。

◇ ◇

ウカル 受験がいよいよ間近になってきました。気を付けた方がよいことは何ですか。

塾長 体調を万全に整えることが第一です。虫歯があると試験

## 試験日の緊急対応

# 万が一まで想定し準備

に集中することは難しいので、歯の治療は早めに行いましょう。頭痛や腹痛があれば、医

眠は7〜8時間必ず取る。眠くて頭がぼーっとしては、試験に集中できませんか

着できることも、やがて社会人になるための大切な能力です。有料の自転車置き

場、電車やバスなど慣れない交通手段を使う場合は、練習として必ず1〜2回利用してみ

することもお忘れなく。ウカル 試験当日、事故などがあつたらどうしますか。

塾長 受験する学校と中学校の担任の先生に連絡することが第一です。連絡が済んだら、近くにいる人に頼んでタクシーを呼んでもらい、試験会場に行くこと。タクシーが難しかったら、近くに

師に相談を。便秘も受験の大敵。繊維質の豊富な野菜を取りましょうね。私のお勧めはニンジン一本とリンゴ半分を使ったジュース。ハチミツを入れると飲みやすくなりますよ。

早く寝、朝ご飯で体調を万全に整えてください。

ウカル 試験会場に下見に行った方がよいのですか。

塾長 学校が早く終わる日や休みの日などを使い、必ず下見に行ってください。自宅からどのように行くと試験会場まで到着するかをよく考え、計画を練ります。集合時間の20〜30分前に目的地に到

ウカル 試験中に気分が悪くなったらどうしますか。

塾長 遠慮せず早めに試験官に申し出ることで。トイレも我慢せず申し出ましょう。ウカル 分かりました。ほかにアドバイス



はありますか。塾長 試験当日は、保護者や家族に「今日まで受験勉強を支えてくださり、ありがとうございました。元気に行ってきます」と感謝の言葉を述べましょう。後は全力を出し切るのみです。ガンバレ！

高校受験への不安や悩み、疑問などをお寄せください。受験生と保護者を応援する記事の参考にします。320-8686、宇都宮市昭和1の8の11、下野新聞社くらし文化部「必勝受験塾」係。メールはkurashibunka@shimotsuke.co.jp

# 必勝 受験塾

林明夫塾長の中3生指南



8

私立高校入試も終わり、いよいよ公立高校（県立高校、国立高専）入試に備える時期となりました。記述式の問題対策などにとまどう受験生のウカルさんに、開倫塾の林明夫塾長がアドバイスします。

◇ ◇

ウカル 公立高校入試に向けて受験態勢をどうシフトしたらよいでしょうか。

塾長 まずは、県立高校や国立高専でどのような問題が出題され

## 公立高校の受験態勢

### 「書き取り練習」が大切

るかを知ることです。ウカル どうすればよいのですか。

塾長 過去に出題された問題（過去問）を

が出せる問題と、なかなか正解が出せない問題は何かを科目ごとに

て解けなかったなら、教科書や参考書を丁寧にやり直してください。

場合は、焦らずにやさしい応用問題からスタートしましょう。ウカル 私立高校と違った形で出題される

ことはありますか。

塾長 はい。県立高校、国立高専では記述式の問題が多く科目で出題されます。

ウカル 記述式の問題への対策は何ですか。

塾長 教科書に出てくる基本的な内容は十分理解した上で、楷書、つまり教科書の書体で書けるようになるまで「書き取り練習」することです。

大切な語句は、定義、つまり「〜は……だ」という言葉の意味をよく理解した上で、正確に書けるようになるまで「書き取り練習」をする

ウカル はい、受験生の自覚を持って勉強

塾長 もうひとがんばりです。何のために受験勉強をするのか、高校に行つて何を学ぶのかを自分の力で絶えず考えると勉強に迫りと集中力がつきま

最低5年分、できれば10年分、制限時間内に解いてみることをお勧めめします。

ウカル 解いてみてどうすればよいのですか。

塾長 スラスラ正解

スラスラできる問題は、ケアレミスがないようにして確実に得点できるようにしましょう。そのためが一番よいのは、自分にとってやさしい問題だけではないですか、同じ年度の問題を5〜6回やり直すことです。

ウカル なかなか正解が出ない問題はどうしたらよいですか。

塾長 基本的なことがよく分かっている

ウカル 私立高校と違った形で出題される

ウカル 記述式の問題への対策は何ですか。

塾長 教科書に出てくる基本的な内容は十分理解した上で、楷書、つまり教科書の書体で書けるようになるまで「書き取り練習」することです。

ウカル はい、受験生の自覚を持って勉強

ウカル なかなか正解が出ない問題はどうしたらよいですか。

塾長 基本的なことがよく分かっている



イラスト/小林隆一 SHIMOTSUKE GRAPHICS

高校受験への不安や悩み、疑問などをお寄せください。受験生と保護者を応援する記事の参考にします。320-8686、宇都宮市昭和1の8の11、下野新聞社くらし文化部「必勝受験塾」係。メールはkurashibunka@shimotsuke.co.jp

# とちぎ

## 寸言



団塊の世代が75歳を超える2025年から、高齢化に伴う介護・医療・福祉などあらゆる問題が国内で現実化する。社会の負荷を最小限にしなから、平均寿命を少しずつでも伸ばし続けたい。そのためには、当事者であるわれわれ団塊世代が自覚を持って、いつまでも若々しく生きるための能力を強化するべきだろう。

私の塾は60歳定年制だが、85歳までは無理のない形で仕事を続けてほしいと全社員にお願いしている。そのために

### 開倫塾塾長 林 明夫

も、社会の変化に対応しながら仕事ができる能力を、ぜひ身につけてほしいと考えている。

特に、IT（情報技術）と英語、専門領域の知見を深めることが重要だ。円高のため生産拠点を海外に移転しつつ

国を挙げて取り組んだ。現在、同国の1人当たりGDPは世界最高レベルを誇る。国も自治体も、雇用対策としての職業教育ではフィンランドを参考とし、この3分野に思い切って絞り込んで取り組むべきだろう。

勉強も、それまで不確かだった知識を十分理解し、定着させるためのものだと考えれば有益だろう。これに加えて、「学び方を学ぶ」読書によって思慮深さを身につける「新聞を読んで自分の力で考える」などの能力、つまり批判的能力を身につけることが大切だ。

## 変わる社会への対応力

ある製造業や、環境、介護、観光などの新成長分野を目指す人たちにとっては、特に不可欠だろう。

北欧のフィンランドは、経済危機に陥った1990年代、国民一人ひとりのIT、英語、専門領域の能力強化に

さらに、これからの社会で役立つのは、自分や社会の課題を発見する能力と、発見した課題を解決する能力だ。

従来の学校教育も、国語や数学などの教科教育はもちろん、教科外のすべての教育が社会に出てから役に立つ。受

手始めとして、大学や公立図書館が365日、午前6時から午後10時まで開館することを提案したい。国や自治体には、これからの社会で求められる能力を身につけようとする個人を、ぜひサポートしてもらいたい。

有効な支援策の

## PISA型学力を身につけるために

- 言語力検定の活用方法を考える -

開倫塾

塾長 林 明夫

## 1. はじめに

15歳時の国際標準の学力調査であるPISA型学力を身につけるにはどうしたらよいか。

このテーマは、フィンランド文部省とOECDの共催でヘルシンキ大学で開かれた3日間の国際会議に数年前に参加して以来、ずっと頭から離れることがなかった。

そのような中、今秋、財団法人文字・活字文化推進機構がPISA型読解能力を育成するために「言語力検定」を実施すると聞き及び、これほど有難いことはないと感じた。

初めての試みであるため、開倫塾では、「言語力検定」の主催団体である文字・活字文化推進機構の先生方から何回かお話を伺い、実施を検討。本年度は、手始めに希望する先生方と塾生、500名弱が受験をさせて頂くこととなった。

来年度からは、本年度の経験を踏まえ、全ての先生、全塾生を中心に保護者や地域社会にも呼びかけた全塾挙げての取り組みにしたいと考える。

## 2. PISA型学力を身につけるために

PISA型の学力を身につけるためには、PISAの基底となる学力観である「キー・コンピテンシーズ(鍵になるような基本的能力)」についての以下のような理解が欠かせない。

(1) 「キー・コンピテンシーズ」の内容は3つある。

知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力(知識基盤型社会に対応するための能力)

多様な集団で交流する能力(グローバル化社会に対応するための能力)

自律的に活動する能力(課題山積の社会に対応するための能力)

(2) 「キー・コンピテンシーズ」を身につける前提となる能力が3つある。

Learning To Learn(学び方を学ぶ)能力

読書により思慮深さを身につける能力

新聞を読み考え「批判的思考能力」を身につける能力

(3) 「人生の成功」と「正常に機能する社会づくり」がこの「キー・コンピテンシーズ」の目的で、学校を卒業した後も生涯にわたって身につけることが求められる。

(4) 以上、PISA型学力の背後にある「キー・コンピテンシーズ」について基本的な考えを十分理解した上で、その具体的な展開方法を考えれば、PISA型の読解能力は身につけ、「言語力検定」のよい対策となる。

### 3. 「言語力検定」の活用方法とは

(1) 年齢相応の読書を十分にした人は PISA 型学力が高く、そうでない人は低いと言われる。

読書により求められる能力は思慮深さ、自省心、省察能力であるから、それに値する本の選択、図書館の活用方法などの指導が欠かせない。

これぞという本は 6 回読み込むこと、心に響いた文章は「書き抜き読書ノート」に書き写すこともお勧めしたい。

(2) 小学生は 20 分、中学生は 40 分、高校生は 60 分以上、新聞を毎日読む習慣を身につける指導も不可欠だ。社会で生起している問題を広く知るために、できれば一面からなめるように読む指導が望ましい。新聞を読んで求められる能力は、自分で考える力、批判的思考能力である。

新聞を読み、関心のある記事を切り抜いてノートに貼り付け、コメントを書く指導は有用である。

### 4. おわりに

PISA 調査は、高校卒業程度、大学卒業程度と少しずつ種類が増えると聞き及ぶ。3 年ごとの調査の結果が発表されるごとに一喜一憂することのないように、教育の成果は一人ひとりの人生を決定すると同時に国の運命も決するものなので、国を挙げての国家戦略としての取り組みを期待したい。

- 2009 年 11 月 3 日ヨハネスブルグにて記す -

月刊「私塾界」2010年1月号原稿

2009年11月23日

## ガバナンスとは

- ヨハネスブルグで考える -

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：ヨハネスブルグには何をするために行ったのですか。

A：(林明夫：以下省略)第 23 回民間経済団体国際会議が 11 月 2・3 日に南アフリカ共和国のヨハネスブルグ、ヒルトン・サントン・ホテルで開かれ、それに経済同友会(東京)のアフリカ委員会の一員として参加させて頂きました。

世界各国からの代表合計 20 数名が参加した小規模な会議でしたが、日本からは丸紅副社長を団長に、豊田通商執行役、井上義明三友システムアプレイザル社長、それに私と、2 名の経済同友会事務局が参加。「持続可能な未来に向けたビジネス界のリーダー - シップ」をテーマに、経済危機を乗り切るためにビジネス界のリーダーは何をすべきかが、熱心に話し合われました。

通訳なし、使用言語は英語のみでした。

Q：ヨハネスブルグまでは、日本からどのように行くのですか。

A：香港経由でキャセイパシフィックで行く方法もありますが、私はシンガポール経由でシンガポール航空で行きました。日本からシンガポールまで約 7 時間、シンガポールからヨハネスブルグまで 10 時間半余りと、片道がほぼ 1 日かかりでした。

シンガポールからの便は 8 割位が中国系の方でした。どこへ行っても中国系の方ばかりで、日本人の 100 倍以上、中国の方がいらっしゃるような気がいたしました。

Q：2010年夏にはワールド・カップが南アフリカであります、準備はどうか。

A：ヨハネスブルグやケープタウンの飛行場や競技場周辺は、まさに建築ラッシュそのものでした。何としてでも間に合わせようと街中が沸き立っていました。建築面での準備はほぼ OK と言えるように思います。

問題は治安です。ホテルのセイフティ・ボックスの中に貴重品を入れて大丈夫かということが真剣に議論され、正答は、入れてはいけない、常に身につけておくべしと言われるほど治安の維持は厳しいようです。ワールド・カップ会期中は、国内に戒厳令のようなものが出され、軍隊まで総動員して治安維持に当たるとは思いますが、ワールド・カップを見学、応援に行く予定の方は、くれぐれも現地ガイドの方の指示に従い、慎重な行動が求められます。

Q：ネルソン・マンデラ氏が大統領になり、治安は回復したのではないのですか。

A：アパルトヘイトの撤廃や民主主義の導入と、治安の維持・向上はあまり関係ないようです。

治安を維持する担当者に汚職(英語で corruption、コラープションと言います)が蔓延していて、また、銃も届け出だけで自由に所持できることが根本原因のようです。

教育予算の何割かを、教育行政担当者や学校長がポケットに入れてしまい、子供たちを教える先生が雇えず、学校で子供たちが学ぶ機会が奪われているという話を至る所で耳にしました。

10 年ほど前に、同じ南アフリカのダーバンで開かれたドイツの NGO、TI(トランスペランス・インターナショナル)主催の腐敗撲滅世界会議(Anti-Corruption Conference アンティ・コラープション・カンフェランス)に参加した際、マンデラ氏が南アフリカから腐敗をなくすと強く演説したのを間近で聞いて感激をしたことがあります、道はなかなか険(けわ)しいように思われます。

Q：なぜ、このようになってしまったのでしょうか。

A：アパルトヘイトが敷かれたときはごく一部の白人が富の大部分を収奪していたようですが、アパルトヘイトが撤廃された今日でも、富の大部分が一部の人に集まる状況にあまり変化はないようです。そのような人々が蓄財をして、自分と家族を守るために要塞(ようさい)のように厳重なセキュリティで守られた一部地域で暮らしています。

国を統治するしくみ、ガバナンスがいまだに著しく欠如しているから、富の配分も大きな問題があっても直すことができず、それが治安が極めて悪い状況をもたらしているように私には思えます。

Q：ヨハネスブルグは住み易いのですか。

A：標高 1600 メートル以上の高地なので極めて天候はよいようですが、抱えている問題が大きすぎて、安心して住める所とはほど遠いように私には思われます。

Q：学習塾、予備校、私立学校の経営者の皆様にお伝えすることはありますか。

A：私はこの旅行中、内村鑑三著「後世への最大遺物、デンマーク国の話」と「代表的日本人」の 2 冊の岩波文庫ワイド版を持ち歩き、折に触れて読んでいました。

その 2 冊の本を通して、自分が死んだ後、何を後の世に遺せるのか、お金か、企業か、思想・著作か、人々への教育か、生き方・生き様か。それを西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮上人の 5 人の代表的日本人はどう後の世の我々に示しているのかを考えていました。

教育の大切さを考えるならば、我々はもっと積極的に、人としての生き方、やってよいこと、悪いことを子供たちに伝え、また、南アフリカも含め世界の人々に伝えてもよいような気がいたします。

教育関係者が子供たちへの教育予算を使い込むなど、許し難いことだと私は思います。

皆様はどうお考えになりますか。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

- 2008 年 11 月 20 日林明夫記 -

月刊「私塾界」2010年2月号原稿

2009年12月15日

## 大学開放講座(コミュニティカレッジ)とは

- 全国大学開放機構で考える -

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：大学開放講座の担当職員の研修会で講演をしたそうですね。

A：(林明夫：以下省略)はい。各大学の大学開放講座(コミュニティカレッジ)担当事務職員の研修会が、全国大学開放機構の主催で 12 月 4 日に東京・四谷の桜美林大学大学院四谷キャンパスで開催され、講師として招聘されました。テーマは 2010 年度受講生募集、全国の大学から担当者が 70 名集まりました。

Q：大学開放講座(コミュニティカレッジ)の問題点は何ですか。

A：大学の大量化によって現役学生に対するリメディアル教育(補修教育)や初年度教育の需要が急増し、また、大不況や団塊の世代の大量退職による社会人の大学学習ブームにもかかわらず、大学自身の問題によって質の高い講座が地域社会に提供できないことが最大の問題です。膨大な需要があるのに、大学自身の問題のため十分な供給ができないことが最大の問題です。

Q：大学自身の問題とは何ですか。

A：大学の経営者である理事長や学長が、大学開放講座(コミュニティカレッジ)の地域社会の発展に対する社会的役割を全く理解していないことが極めて多いことです。

また、センター長に任命された専任教授と、事務長に任命された大学事務職員も大学開放講座(コミュニティカレッジ)の社会的使命を全く理解せず、窓際に追いやられたと被害者意識で着任する大学が大半であります。

大学の経営者である理事長や学長、実務の責任者であるセンター長、事務長の三者の無理解とやる気のなさが、日本の大学開放講座(コミュニティカレッジ)の最大の問題です。

一般の事務職員や担当講師(多くの場合非常勤講師)、受講生はやる気満々ですが、上の三者の熱意と勉強があまりにも不足しているために、大学という巨大インフラを十分に生かすことが日本ではできずにいます。

そこで学びたい学生や市民の学習機会を奪っているとすら私には思えます。大学の専任講師も、地位が安定しているためか、大学開放講座で教えることは余計なことをやらされているという意識の強い人が多いように思われます。

Q：どうしたらよいのですか。

A：アメリカのコミュニティカレッジや、ヨーロッパの失業者・転職希望者・スキルアップ希望者への職業訓練施設を、大学関係者はもっと学ぶべきです。大学全入時代ですので、リメディアル教育や初年度教育の大学開放講座(コミュニティカレッジ)での本格的展開の方法をもっと研究すべきです。

大学開放には、今のところ法的規制は全くありませんので、自由に制度設計をして学生のため、市民のために夜間や土・日曜日、長期休暇期間も開放。365日、大学は施設をフル活用すべきです。

Q：学習塾、予備校、私立学校の経営者の皆様にお考え頂きたいことはありますか。

A：お近くの、また、関係する大学・短期大学・専門学校・専修学校に働きかけて、施設を使用しない時間帯や曜日、休暇中などを活用して大学開放講座(コミュニティカレッジ)の実施を働きかけ、誰も本気でやる人が存在しなければ、皆様が担当なさることを申し入れることを私は提言させていただきます。

カリキュラムの質、先生の質、マネジメントの質の高さを十分に考えながら、皆様のお力で日本各地に本格的な大学開放講座(コミュニティカレッジ)を実現させて頂きたく希望します。

少子化で児童・生徒募集に苦勞に苦勞を重ねておられるのが私を含めて学習塾、予備校、私立学校の経営者の皆様ですので、ぜひ大学開放講座(コミュニティカレッジ)の業務委託を大学からお受けになり、組織の存続を図られてはどうでしょうか。一度、ぜひお考え下さい。

大学開放講座で教えたい、また、教えられる講師希望者は社会の中に山ほど存在します。講師希望者を公募し、十分研修した上で、評価のシステムをつくり、大学の設立の理念や地域・受講者のニーズを把握しながらコース・カリキュラムを設計すれば、素晴らしい教育が展開可能です。

Q：最後に一言どうぞ。

A：教育格差を是正するためにはどうしたらよいか。教育の成果を決定するのは本人の自覚と教師の力量ですから、本人の自覚を促しながら教師の力量を向上させるしくみを整えることが大事と考えます。

力量ある教師を育成するポイントは何か。教師としての自覚を促し、自らの力で力量形成できる環境を整備することと考えます。

学び方を学ぶ能力、自己学習能力が身につけていけば、教育格差は生じないと私は考えます。

同時に、学力の高い人は読書による思慮深さと自省心を身につけていると言われます。図書館の活用方法を徹底的に教育することは、教育格差是正の要と思います。新聞を読んで自分の力で考える力、批判的思考能力を身につけることも有用です。

以上の教育格差是正策は、国家や自治体の教育予算をあまり追加させることなく実行可能です。学習塾、予備校、私立学校は、受験指導に加えて本気になって教育格差是正のために立ち上がる時期と確信します。大学開放講座(コミュニティカレッジ)も大学生や社会人の教育格差是正には有効です。

皆様はどうお考えですか。

- 2008年12月15日羽田空港にて記す -

月刊「私塾界」2010年3月号原稿

2010年1月26日

## マニーのユニークな価値提供とは

- カンプリア宮殿で考える -

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：林さんが社外取締役を務め、宇都宮市の清原工業団地に本社のあるマニー株式会社が、村上龍氏の人気ビジネスTV番組「カンプリア宮殿」で特集されたそうですね。

A：(林明夫：以下省略)はい。1月25日夜10時から1時間近く、松谷貫司マニー会長を中心に特集されました。

店頭市場であるジャスダックのJ・ストックに2001年より株式公開しているマニー株式会社は、売上げに対する利益率が約40%の高収益企業として株式投資家とりわけ機関投資家の間ではいくらか知名度がありましたが、従来あまり知名度は高くありませんでした。

2008年度に一橋大学大学院国際企業戦略研究所の「ポーター賞」を受賞して、幾分知られてきたようです。

Q：林さんはいつから、また、なぜ社外取締役になったのですか。学習塾の経営者が、世界最先端の医療機器の国際企業の取締役を務まるのですか。

A：マニーが委員会設置会社に移行した2004年に、地元の企業経営者として社外取締役に選任され、以来5年あまり毎月のようにマニーに通っています。時々、海外の現地法人にも行きます。

私に取締役を務まるか否かは自分でも少しは気にしましたが、選任されたからには職務を全うしようと、取締役とりわけ社外取締役の職務とは何かについての勉強だけは精一杯しました。私以外の社外取締役である弁護士、税理士、花王でアタックの開発責任者をなされた花王の元取締役の方も自らの職責を果たすために相当勉強されているようです。

超高収益企業であるマニーがなぜ委員会設置会社にして社外取締役を社内からの取締役の数以上入れたかといえば、「ガバナンス」を効かせるため、社内に緊張感をもたせるためであったようです。

Q：マニーのユニークな価値提供とは何ですか。学習塾・予備校・私立学校の経営幹部が読んで参考になるように説明して下さい。

A：マニーでは、顧客を「手先へのこだわり、機器へのこだわりが必要とされるような手術や治療に携わる医師や歯科医師」と明確に定義しています。

主な製品は、手術用針、眼科手術用ナイフ、歯科治療用ドリルなどで、その製品の7割が独自に開発した特殊なステンレス製線材を使用。年間売上げは約90億円と医療機器メーカーとしては小額だが、120か国以上に輸出。海外販売比率は7割近い。世界シェア50%近い製品も。

このマニーが提供する価値の第一は、世界一の品質。マニーは、品質を安全性と医師のこだわりに応える機械的特性と定義。安全性とは、錆びないこと、体内で分離破断しないこと。機械的特性とは、切れ味、腰の強さ、しなやかさなど。

第二は、用途、用法、医師の好みに合った最適な製品を提供すること。そのために多様な品揃えを(手術用針は10000種類、歯科用治療機器は3000種類)。

モットーは「世界一の製品を世界のすみずみに」。

Q：世界一かどうかは、どのように判断するのですか。

A：製品ごとに「世界一か否か」を議論する「世界一か否か会議」を年2回開催。世界一でない製品は販売しないという徹底ぶりです。

「世界一か否か会議」では、特性ごとに、競合他社の製品と自社の製品を比較し、世界一を逃した特性に対してアクションプログラムをスタート。部門ごとに「開発朝礼」を毎月1回開催。開発チーム、営業責任者、生産トップが参加し方針決定、課題解決に取り組む。売上高の6~8%を一貫して研究開発に投資。

Q：このほかにユニークなことはありますか。

A：前にも紹介したかもしれませんが、経営戦略上やらないことをはっきりさせているということです。例えば、医療機器以外はやらない。独創技術のない製品はやらない。製品寿命が短い製品はやらない(20年を目安とする)。ニッチ市場(世界市場の規模が2000億円以下)以外のものはやらない。世界中に販売できないものはやらない等々。17項目にものぼるやらないことがあります。

Q：学習塾・予備校・私立学校の経営幹部として、マニーのような最先端の輸出型製造業の企業から学べることはありますか。

A：たくさんあります。

まず第一は、ガバナンスのあり方です。教育関係の公開企業で社外取締役が取締役の過半数を超える委員会設置会社は、学究社などを例外にして非常に少ないようです。

企業の持続的発展を目指し、中・長期的な見地から耳に痛いことを経営者が素直な心で聞くしくみを、教育機関もつくるべきです。

第二は、顧客を絞り込んだ上で世界一か否かにこだわる粘り強さです。開倫塾は教え方日本一を

目指していますが、マニーの取り組みと比べまだまだ甘いところだらけです。

第三は、やらないことを明確に決める(トレード・オフ)です。他がやるから、皆がやるから自分もやるのではなく、これだけは絶対やらないと決めることでやるべきことがはっきり見えます。

Q：最後に一言どうぞ。

A：昨年末からスタートした司馬遼太郎原作の2つのNHKの大河ドラマ「坂の上の雲」と「龍馬伝」は興味が尽きません。デフレで意気消沈している現代の日本人は、日本の近代を築いた人々からエネルギーを頂く必要があります。

年末から年始にかけて正岡子規の「病牀六尺」をはじめとする著作を岩波文庫で十冊ほど読みましたが、生への執念のすさまじさがよく感じられました。子規と漱石の往復書簡集を読んでいたら、私の大好きな南方熊楠も2人の東大予備門の同級生だと知りびっくり。教育の成果は計り知れないと思いました。

皆様は、「坂の上の雲」をお読みですか。

- 2010年1月26日記 -